

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(令和元年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)

令和3年2月
遠野市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	5
4	教育委員会の会議以外の活動状況	6
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	14
1	ふるさと教育の推進	17
(1)	就学前教育の充実	17
(2)	学校教育の充実	21
(3)	高等学校への支援	34
2	生涯学習の推進	36
(1)	社会教育の充実	36
(2)	芸術文化活動の推進	39
3	ふるさとの文化の継承・創造	40
(1)	郷土文化の保存と活用	40
(2)	文化財の保護と継承	44
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	48
4	健康づくりの推進	51
(1)	健康づくり活動の推進	51
5	子育て支援の推進	54
(1)	少子化対策・子育て支援	54
IV	外部評価の実施	57

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
17	1	(1)	①	わらすっこプラン推進事業費	こども政策課
18	1	(1)	②	保育所等運営事業費	こども政策課
19	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	こども政策課
20	1	(1)	②	わらすっこの療育支援事業費	こども政策課
21	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
22	1	(2)	①	外国語指導助手招へい事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	特色ある学校づくり事業費	学校教育課
23	1	(2)	①	平成・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
23	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
24	1	(2)	①	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	学校教育課
24	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
25	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
26	1	(2)	②	小学校管理費（繰越明許）	総務企画部財政担当
26	1	(2)	②	小学校管理費	総務企画部財政担当
27	1	(2)	②	小学校大規模改造整備事業費（繰越明許）	総務企画部財政担当
27	1	(2)	②	小学校大規模改造整備事業費	総務企画部財政担当
27	1	(2)	②	小学校体育館大規模改造整備事業費	総務企画部財政担当
28	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	学校教育課
28	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	学校教育課
29	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	学校教育課
29	1	(2)	②	G I G Aスクール（小学校）	学校教育課
30	1	(2)	②	中学校管理費（繰越明許）	学校教育課
30	1	(2)	②	中学校管理費	学校教育課
30	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	学校教育課
31	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	学校教育課
31	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	学校教育課
32	1	(2)	②	G I G Aスクール（中学校）	学校教育課
32	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
33	1	(2)	④	地域教育文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
34	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	学校教育課
35	1	(3)	①	育英事業費	学校教育課
36	2	(1)	①	みらい創りカレッジ推進事業費	生涯学習スポーツ課
36	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	③	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	④	高齢者元気アップ活動事業費	生涯学習スポーツ課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
38	2	(1)	⑤	放課後子どもプラン推進事業費	生涯学習スポーツ課
39	2	(2)	①	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
40	3	(1)	①	博物館費	文化課
41	3	(1)	②	図書館費	文化課
42	3	(1)	②	視聴覚教育振興費	文化課
42	3	(1)	②	ブックスタート事業費	文化課
44	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
45	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
45	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
46	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
47	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
48	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	文化課
49	3	(3)	②	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	文化課
49	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	文化課
50	3	(3)	—	こども本の森構想推進事業費	こども本の森構想推進室
51	4	(1)	①	健康スポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	①	子どもの体づくりプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
52	4	(1)	②	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
53	4	(1)	③	ばすぼる推進事業費	学校給食センター
54	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	こども政策課
55	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	こども政策課
55	5	(1)	②	子育て応援宣言のまち推進事業費	こども政策課

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあつては、首長部局）が令和元年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第 2 期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から令和 7 年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会の構成

(令和3年1月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	菊池 広親	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
委員	千田 由美子	令和元年11月26日から令和5年11月25日まで
委員	菊池 和子	平成30年11月26日から令和4年11月25日まで
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日から令和6年11月25日まで

2 教育委員会の会議の招集状況

令和元年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を3回(11月、2月、3月)、計15回会議を招集しました。

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、令和元年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、28件です。

【議案の性質別件数】

分類	項目	件数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	8
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	3
5	職員の人事異動の方針を定めること	1

6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	3
7	附属機関の委員の任免に関すること	6
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	—
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		28

【令和元年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
平成31年4月定例会				
14	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成31年4月26日	承認	2
15	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程及び遠野市教育委員会事務局職員等被服貸与規程の一部を改正する訓令の制定の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成31年4月26日	承認	2
16	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成31年4月26日	承認	7
17	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成31年4月26日	承認	7
令和元年5月定例会				
18	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和元年5月28日	承認	7
19	遠野市就学指導委員会委員の任免の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和元年5月28日	承認	7
20	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和元年5月28日	承認	7
令和元年6月定例会				
21	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	令和元年6月27日	可決	7

令和元年7月定例会				
22	令和2年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	令和元年 7月19日	可決	3
23	令和2年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	令和元年 7月19日	可決	3
24	令和2年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択に関し議決を求めることについて	令和元年 7月19日	可決	3
令和元年8月定例会				
25	令和元年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	令和元年 8月23日	可決	9
26	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について）	令和元年 8月23日	可決	4
27	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（遠野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び遠野市保育料条例の一部を改正する条例の制定について）	令和元年 8月23日	可決	4
令和元年11月臨時会				
28	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	令和元年 11月8日	可決	2
29	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	令和元年 11月8日	可決	2
30	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定について	令和元年 11月8日	可決	2
31	教育委員会事務局職員の人事に関し議決を求めることについて	令和元年 11月8日	可決	6
令和元年11月定例会				
32	令和元年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	令和元年 11月20日	可決	5
令和2年2月定例会				
1	令和2年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	令和2年 2月13日	可決	1
2	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について	令和2年 2月13日	可決	4
3	令和2年度学校給食費の額の決定に関し議決を求めることについて	令和2年 2月13日	可決	3

議案 番号	件名	提出日	決議	分類
令和2年2月臨時会				
4	令和2年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	令和2年 2月25日	可決	6
令和2年3月臨時会				
5	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	令和2年 3月17日	可決	6
令和2年3月定例会				
6	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	令和2年 3月19日	可決	2
7	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	令和2年 3月19日	可決	2
8	遠野市立小中学校において使用する表簿の様式を定める規程の一部を改正する訓令の制定について	令和2年 3月19日	可決	2
9	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	令和2年 3月19日	可決	10

(2) 総合教育会議

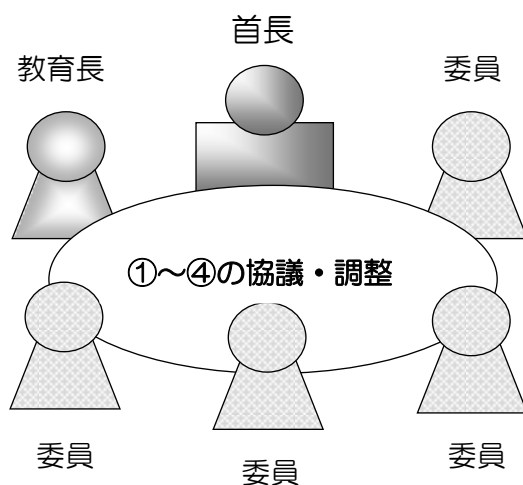
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

令和元年度は2回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 令和元年9月26日	(1) 学校給食費の算定について (2) 子育てするなら遠野第2ステージに向けた新たな「プラン・条例・基金」3本柱の創造・発展について
第2回 令和2年3月2日	(1) 新型コロナウイルスの感染症対策に関する今後の取組みについて

【総合教育会議の概要】



- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整



- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会議名等
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
7月	本会議（臨時会）、議員全員協議会

8月	本会議、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会
10月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
11月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
12月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
2月	本会議、議員全員協議会
3月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会

【学校訪問】

月	行 事 名 等
6月	学校懇談会（土淵小学校）
9月	学校公開研究会（青笹小学校）
10月	学校公開研究会（宮守小学校）
11月	学校懇談会（遠野小学校） 学校公開研究会（附馬牛小学校） 学校懇談会（遠野西中学校）

【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席したものを列記）

月	行 事 名 等
4月	平成31年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 教育長就任式 特別支援教育支援員研修会・特定教科支援員研修会 新採用教職員辞令交付式 遠野市立小中学校転入教職員等着任式 小学校入学式、中学校入学式 県立高等学校入学式 第1回市内小中学校長・副校長会議 岩手県保育協議会遠野地区双葉会定期総会 岩手の高校教育を考えるフォーラム（盛岡市） 東北都市教育長協議会定期総会・研修会（宮古市） 管内教育長会議 教職員の多忙・負担軽減対策等検討会議 遠野市奨学生選考委員会 岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 遠野市教育委員会定例会（4月） 遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」

月	行 事 名 等
5月	新しい「遠野物語」を創るプロジェクト開講式（遠野高校） 学力向上対策会議 岩手県教育研究所連盟定期総会及び研究協議会 遠野市消防演習 釜石・遠野地区教科用図書採択協議会 第2回岩手県高校再編後期計画地域検討会議 遠野市生徒指導推進協議会 全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会富山大会 小学校運動会、中学校体育祭 遠野市教育委員会定例会（5月） 学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 遠野市教育研究会全体研修会 岩手県市町村教育委員会協議会定期総会 遠野市地域教育協議会連絡会 遠野市交通安全対策協議会総会
6月	各町町民運動会 釜石地区租税教育推進協議会定期総会 遠野市議会議員全員協議会 遠野市緑化祭「里山フェスタ2019」 遠野まつり臨時実行委員会 遠野市議会6月定例会 遠野市中学校総合体育大会 岩手県民体育大会遠野市選手団結団式 岩手県ママさんバレーボール大会 生徒指導主事会議 遠野市中高連携校長・副校長会議 遠野市文化財保護審議会 遠野市教育委員会定例会（6月） 学校懇談会（土淵小学校）
7月	第2回市内小中学校長会議 総合食育センター運営審議会 東北六縣市町村教育委員会連合会研修会（福島県郡山市） ブラインドサッカーブラジル代表合宿歓迎交流会 ブラインドサッカーブラジル代表と各中学校との交流会 日本教育会岩手県支部遠野地区総会 釜石・遠野地区教科用図書採択協議会 高校再編を考える市民会議 茨城県水戸市教育委員会行政視察対応

月	行 事 名 等
7月	遠野市教育委員会定例会（7月） 市内児童生徒陸上競技大会優勝報告及び東北大会出場壮行会 綾織保育園改築工事起工式・安全祈願祭 平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」八戸市児童受入れ 岩手県への統一要望 青森県八戸市教育長との懇談 早稲田塾「グローバル企業経営塾」 第14回市内小学校水泳記録会 遠野市議会議員全員協議会、遠野市議会臨時会
8月	教育研究所全体研修会 チャレンジ防災スクールTONO2019 平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」 遠野市児童派遣 遠野市名誉市民墓参 令和元年度第1回遠野市総合計画審議会 第3回高校再編後期計画地域検討会議（釜石） 遠野市防災会議 遠野文化フォーラム「子守歌と民謡」 第33回遠野市少年消防クラブ防火野球大会 i. clubサマープログラム2019 遠野納涼花火まつり 遠野市民野球大会 愛知県大府市小学生都市間交流事業 大府市児童受入れ 第3回市内小中学校長会議 特別支援教育支援員研修会 遠野市教育委員会定例会（8月） 日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン 兵庫県福崎町小学生交流事業 福崎町児童受入れ 遠野市中学校駅伝競走大会 遠野緑峰高等学校農業クラブ全国大会出場報告会 遠野市戦没者追悼・平和記念式 遠野高等学校「鍋城祭」（遠野高等学校文化祭） 岩手日報リーダーズサークル遠野例会（海上自衛隊東京音楽隊演奏会）
9月	遠野市防災訓練 遠野市交通指導隊設立50周年記念式典 遠野市議会9月定例会 遠野東中学校全国中学校総合文化祭出場報告会 遠野わらすっこまつり・消防フェア 青笹小学校学校公開研究会

月	行 事 名 等
9月	遠野市中学校新人大会 遠野緑峰高等学校遠野ゼミナール演奏会 岩手県教育研究所連盟研修会 日本のふるさと遠野まつり 遠野中学校野球部優勝報告会 市内小学校陸上記録会 遠野市教育委員定例会（9月） 令和元年度第1回総合教育会議 佐々木喜善祭 ばすぼる食育まつり 教育委員会永年勤続功労者表彰式
10月	市制施行14周年記念功労者表彰式・市民栄誉賞表彰式 宮守小学校学校公開研究会 岩手ことばを育む親の会遠野支部との懇談会 第14回遠野市継走大会 遠野市いじめ問題対策委員会 交流すまいる給食（附馬牛小学校） 第4回市内小中学校長会議 第2回防災会議及び災害対策本部会議（全5回） 遠野市就学指導委員会 岩手大学創立70周年記念式典 市内各小学校学習発表会 遠野市議会議員全員協議会 遠野市議会臨時会 遠野市教育委員会定例会（10月） 遠野市小学校音楽祭 遠野市わらすっこ条例有識者会議 遠野高等学校学校公開研究会 遠野緑峰高等学校「緑峰祭」（遠野緑峰高等学校文化祭） 市内各中学校文化祭 退職校長会との教育懇談会
11月	管内教育長・校長会議 岩手県学校図書館教育研究会遠野大会（青笹小学校・遠野東中学校） 遠野地区中学校総合文化祭 学校懇談会（遠野小学校） 教育委員会臨時会 遠野市空手道連盟創立40周年記念式 遠野市生徒指導推進協議会

月	行 事 名 等
11月	フッ化物洗口実施検討会議 附馬牛小学校学校公開研究会 岩手県教育委員会協議会教育長部会（北上市） 岩手県教職員表彰式 MOA美術館表彰式 遠野市議会議員全員協議会 遠野市議会臨時会 遠野市教育委員会定例会（11月） 学校懇談会（遠野西中学校） ブラシュアップ授業改善研修モデル授業（遠野中学校） 明日の遠野の環境を考えるフォーラム 高校魅力化市民フォーラム 遠野市議会議員全員協議会 遠野市教育委員辞令交付式 第5回市内小中学校長会議 第2回フッ化物洗口実施検討会議 学校・家庭・地域の連携による学び推進委員会
12月	遠野ユネスコ協会「絵で伝えよう！絵画展」賞状授与式 遠野市議会12月定例会 遠野物語ファンタジー旗揚げ会 ふるさと遠野音楽祭 フッ化物洗口保護者説明会（全3回） 遠野市教育委員会定例会（12月） 釜石遠野地区教科用図書採択協議会会計監査 中高生海外派遣交流事業結団式 仕事納めの式
1月	仕事始めの式 中学生海外派遣（アメリカ・テネシー州・チャタヌーガ市）出発式/到着式 高校生海外派遣（台湾・台北市）出発式/到着式 遠野市民新年交賀会 全国都道府県対抗男子駅伝出場激励会 遠野市教育研究所教育研究発表会 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 遠野市就学指導委員会 釜石遠野地区教科用図書採択協議会 地域で子どもを育てる学習発表会 遠野市教育委員会定例会（1月）

月	行 事 名 等
1 月	千葉家住宅保存活用委員会 遠野ユネスコ協会報告会及び新年会 遠野緑峰高等学校プロジェクト発表会 環境・科学研究発表会運営委員会 岩手県市町村教育委員会協議会研修会 第3回遠野市防災会議
2 月	環境・科学研究発表会 第47回保育のつどい 管内教育長会議（西和賀町） 中高生海外派遣交流事業報告会 遠野市特別支援教育研究会交流発表会 いじめ問題等対策委員会 第2回遠野市総合教育センター運営審議会 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会 遠野市学校保健会研究大会 教育研究所学力向上対策会議 遠野市教育委員会定例会（2月） 岩手県教育研究発表会 綾織保育園落成式及び落成祝賀会 遠野市教育文化振興財団及び体育協会顕彰・栄賞表彰式 第4回岩手県小学生新人剣道選手権 共生社会フォーラムinとおの 遠野市議会議員全員協議会 教職員の多忙・負担軽減等対策検討会議 第6回市内小中学校長会議 学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 わらすっこ議会 市民の舞台遠野物語ファンタジー 遠野市教育委員会臨時会 遠野高等学校「新しい遠野物語を創るプロジェクト」発表会 臨時市内小中学校長会議 岩手県保育協議会遠野地区双葉会研修会 小友町裸参り
3 月	県立高等学校卒業証書授与式 遠野市議会定例会（3月） 高校再編を考える市民会議 遠野市教育委員会臨時会 事務の管理及び執行の状況の外部評価会議

月	行 事 名 等
3月	遠野市民センター運営協議会 第4回遠野市防災会議 遠野市教育委員会定例会（3月） 遠野市総合計画審議会 退職・市外転出教職員辞令交付式 遠野まつり実行委員会総会 教育委員会退職者等辞令交付式

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

令和元年度において、遠野市教育委員会は、

- ・第2次 遠野市総合計画 前期基本計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）
- ・第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画 前期基本計画においては、教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

【第2次遠野市総合計画 前期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用 2 文化財の保護と継承 3 郷土の文化を生かした地域創造
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	

また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って、各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、令和元年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「令和元年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	令和元年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位：円)	
令和2年度事業所管課	令和2年度における当該事務事業を所管する課の名称を記載しています。		評価	※
取組状況	事務事業の概要、取組状況等を記載しています。			
成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)			

【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果（「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分）を、前表の「評価」欄（※）に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成されたとまではいえないと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	① 家庭、地域での教育

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、家庭や子育てを社会で支えていく地域社会づくりを目指し、地域や事業所との連携のもと子育て支援施策を展開した。</p> <p>令和元年度は「遠野わらすっこプラン」の最終年にあたり、令和2年度から5年間を対象とした「第2次遠野わらすっこプラン」を策定し、併せて、制定10周年を迎えた「遠野市わらすっこ条例」の改正、「わらすっこ基金」の新たな仕組みづくりを検討し、子ども・子育て支援の3本柱として総合的な見直しを図った。</p> <p>また、実施事業として「わらすっこまつり」と「消防フェア」の合同開催、わらすっこ条例応援事業者の認定、遠野テレビを活用した「子育て情報ガイドわらすっこナビ！」の放送、わらすっこ支援委員会による事業の検討並びに評価等を行った。</p>
課題	<p>新たに制定した「第2次遠野わらすっこプラン」の初年度にあたり、改正したわらすっこ条例の“理念”と、新たな仕組みを構築したわらすっこ基金の“財源”を基礎として、次代を担う子どもを産み育てる家庭を地域みんなで応援し、子どもが心身ともに健やかに育つための実効性のある施策を推進する。</p>

事業費名	わらすっこプラン推進事業費	令和元年度 決算額	8,397,364円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○ 遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」に基づき、子どもだけでなく子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者等）も対象とした子育て支援事業の普及に努めた。</p> <p>1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業</p>	評価	達成	
成果	<p>○ 地域全体で子育てを応援する環境づくりとして、子育て支援を積極的に実施している事業者をわらすっこ条例応援認定事業者として認定した。</p> <p>また、毎月、遠野テレビや広報で子育て関連事業を広く周知するとともに、わらすっこまつりを開催し、子どもたちが家族や地域の方々と一緒に様々な遊びや体験ができる機会を提供した。</p> <p>【実績値】わらすっこ条例応援認定事業者 6事業所</p> <p>○ わらすっこ条例及びわらすっこプランの見直しや関連事業の評価等を審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を6回開催した。</p> <p>○ わらすっこ基金への寄附金 1,742,647円、運用利子10,406円及びふるさと納税分 4,635,000円を積み立てるとともに、子育て支援関連事業に活用した。</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	② 教育・保育の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>身体障がい、知的障がい、精神及び発達障がいがあり、特別な支援を必要とする子どもとその保護者に対する取組として、療育教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）、幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成、日中一時支援事業及び放課後等デイサービス事業の利用者負担助成等の事業を実施することにより、支援を必要とする子どもとその保護者に対する福祉の向上を推進した。</p> <p>また、幼児教育・保育無償化に伴う副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助、保育所12カ所の運営委託、認定こども園2カ所、幼稚園1カ所の運営費負担、保護者のニーズに応じた特別保育の実施、社会福祉法人への運営費補助を行い、就学前教育・保育環境の充実を図った。</p>
課題	<p>特別な支援が必要な児童とその保護者への支援体制の充実を図るため、療育教室、幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成等の事業を着実に推進するとともに、臨床心理士による出張心理相談の実施や小学校への就学に伴う円滑な接続について関係機関との連携を強化する。</p> <p>令和元年10月から実施している幼児教育・保育無償化に伴う副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助を着実に推進し、就学前教育と保育環境の充実を図る。</p>

事業費名	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	令和元年度 決算額	959,660,094円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代の流れとともにライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育所の利用を希望する子育て世代が増加していることから、保育の受け皿として市内12カ所の保育所と2カ所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、もって児童の健全な育成を図ることを目的として取組んだ。 ○ 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、保護者負担となる副食費の助成を行い、保護者の経済的負担と保育施設職員の業務負担の軽減を図った。 ○ 「保育の必要性」があり、認定こども園等の預かり保育事業や認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業を利用した場合の利用料を補助し、保護者の負担軽減を図った。 	評価	達成	

成果	<p>○ 市内12カ所の保育所と2カ所の認定こども園の運営費を委託又は負担することにより、保護者が安心して子どもを預けることができる環境の構築と児童の健全な育成に努めた。</p> <p>【年度末入所児童数（定員に対する充足率）】 遠野 95人（86.4%）、神明 62人（86.6%）、綾織 39人（78.0%）、 岩滝 32人（106.7%）、附馬牛 30人（75.0%）、白岩 97人（88.2%）、 松崎 49人（98.0%）、土淵 67人（95.7%）、青笹 103人（103.0%）、 上郷 45人（90.0%）、宮守 51人（68.0%）、達首部 34人（85.0%）、 鱒沢 13人（65.0%）、聖光 84人（80.0%） 合計 801人（87.1%）</p> <p>【年齢別入所児童数】 0歳児 107人、1歳児 120人、2歳児 116人、3歳児 146人、4歳児 143人、 5歳児 169人、合計 801人</p> <p>○ 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、国の免除対象とならない3～5歳児の副食費（おかず代・おやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と保育施設職員の事務負担を軽減した。</p> <p>【副食費助成児童数】 実人数 318人（延べ1,887人）</p> <p>○ 幼児教育・保育の無償化により認定こども園の教育認定児童で、預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料を補助し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>【施設等利用給付人数】 5人</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	幼稚園応援事業費	令和元年度 決算額	34,637,896円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○ 市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、幼児教育の振興及び円滑な経営を図るため運営費を補助した。</p> <p>○ 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、保護者負担となる副食費の助成を行い、保護者の経済的負担及び職員の業務負担の軽減を図った。</p> <p>○ 幼児教育・保育の無償化により、預かり保育事業を利用した児童のうち「保育の必要性」がある世帯に対して利用料を補助した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○ 私立幼稚園の運営費を負担することによって、充実した幼児教育環境の提供及び園の円滑な運営を支援した。</p> <p>【年齢別入所児童数】 満3歳児 3人、3歳児 9人、4歳児 10人、5歳児 17人 合計 39人</p> <p>○ 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、国の免除対象とならない満3歳～5歳児の副食費（おかず代及びおやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と職員の事務負担を軽減した。</p> <p>【副食費助成児童数】 実人数21人（延べ104人）</p> <p>○ 幼児教育・保育の無償化により、預かり保育事業を利用した児童のうち「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料を補助し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>【施設等利用給付児童数】 18人</p>			

事業費名	わらすっこの療育支援事業費	令和元年度 決算額	34,483,449円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身において発達支援が必要と認められる児童に対し、個別プログラムを取り入れた療育教室を開催した。 ○ 発音等ことばの発達が気になる幼児に対し、就学前にことばの教室を開催した。 ○ 軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入について一部助成を行った。 ○ 障害児通所支援事業所に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給した。 ○ 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、その自己負担分を助成した。 ○ 市外特別支援学校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達支援が必要である児童に対し、個別プログラム及び臨床心理士からの助言を活かした療育教室を開催し、個々の特性に応じた適切な支援及び指導を行うとともに、その保護者への子育て支援を行った。 【実績値】 療育支援教室：のびっこ教室 11人、ジャンプ教室 4人 ○ 発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して、幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。 【実績値】 幼児ことばの教室通級人数 10人 ○ デジタルワイヤレス補聴システムの購入費の一部を助成し、対象児童の学校生活における聞き取り能力の向上に寄与した。 【実績値】 軽度・中等度難聴児補聴器助成 1件 ○ 放課後等デイサービス事業者、障害児相談支援事業者に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給した。 【実績値】 障害児通所給付費対象者延人数 254人 ○ 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、利用者自己負担分を助成し経済的負担を軽減した。 【実績値】 日中一時支援事業等利用者負担助成 16人 ○ 花巻清風支援学校本校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の送迎に係る負担軽減に寄与した。 【実績値】 特別支援学校スクールバス利用 4人 			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	① 教育内容の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>教育内容の充実については、遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成 ～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～」の目標達成に向け、次の5つの項目（①学校経営の質的向上、②確かな学力の育成、③豊かな人間性の育成、④健やかな体の育成、⑤特別支援教育の充実）に重点を置き施策の展開を図ってきた。</p> <p>令和元年度に実施した事業については、ほぼすべての事業において目標を達成することができた。特に教育研究所が平成25年から実施している義務教育9年間を見通した学力向上の取組も7年目を迎え、継続的な市独自の取組の成果が各種学力調査等の成果として表れている。</p> <p>また、遠野東中学校が全国中学校総合文化祭に岩手県代表として出場するなど、児童生徒の体育・文化活動での活躍が目立った。</p>
課題	<p>全国標準学力検査において、将来的に小中学校とも学力偏差値「50」を超えることを目指し、中学校区単位での研究・研修の充実を図るとともに、教職員の授業力向上に努め、児童生徒の確かな学力の育成を図っていく。</p>

事業費名	体育・文化行事奨励費	令和元年度 決算額	9,046,030円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「知・徳」に位置付けて事業を実施した。 ○ 次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよさ、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して言語能力を養い、豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊した。 ○ 創造的活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催した。 ○ 体育活動及び文化活動の振興を通して市内小中学校の児童生徒の健全な育成を図る事業を行う団体に対して補助金を交付した。 ○ 地方公共団体等が主催する各種大会（県、東北、全国）に児童生徒が出場するために要する経費の一部について助成を行った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校児童生徒文集「遠野」の発刊や小中学校児童生徒作品展等の文化的事業を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向い努力する心と向上心を養うことができた。 【児童生徒文集の印刷部数】 250冊 ○ 市立小・中学校の児童生徒を対象とした体育活動及び文化活動の事業を実施する団体に対し、補助金を交付することにより、児童生徒の健全育成を図ることができた。 【児童生徒作品展の開催】 1回 ○ 富山県で開催された第19回全国中学校総合文化祭に岩手県代表として遠野東中学校が出場し、「永遠の日本のふるさと遠野～青笹しし踊り～」を語り部・しし踊り・遠野市民歌斉唱の構成で発表し、郷土文化の継承発展に寄与した。 【事業補助団体数】 4団体 			

事業費名	外国語指導助手招へい事業費	令和元年度 決算額	14,740,244円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「知」に位置付けて事業を実施した。 ○ 外国語教育は、小学校では英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験することで、コミュニケーション能力の素地を養うこと、中学校では身近な事柄を中心に、コミュニケーションを図ることが目標となっている。これらの目標を達成するために、教員の確保や指導力向上だけでは十分対応できない部分に外部人材を活用し、外国語教育の充実に取り組んだ。 ○ 平成30年度には、新学習指導要領の先行実施により小学校5・6年生で外国語が教科化され、令和2年度には新学習指導要領が全面实施され外国語教育改革が本格的に実施されることから、外国語教育の強化に努めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導助手を中学校区ごとに3人配置し、小学校における外国語活動及び中学校における英語教育、小中学校における国際理解教育等の充実に努めた。 ○ 外国語指導助手を効果的に活用し、児童生徒に生きた英語に触れる機会を提供することで、コミュニケーション能力を養うとともに基礎的、実践的な英語力の向上を図る一助となった。 【派遣回数】 511回（小学校 212回 中学校 299回） 			

事業費名	特色ある学校づくり事業費	令和元年度 決算額	1,253,784円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の全てに位置付けて事業を実施した。 ○ 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を活かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組んだ。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての小中学校が各校の教育目標や地域の特色に応じて、歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開し、郷土芸能の伝承活動や地域の文化や人材を活かした活動に取り組んだ。 ○ 事業を通じて、地域の方々との交流や地域の伝統や文化に触れることで、児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となった。 【実施学校数 14校】 			

事業費名	平成・南部藩寺子屋交流事業費	令和元年度 決算額	574,400円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「徳」に位置付けて事業を実施した。 ○ 昭和62年に「たくましく生活を切り開く遠野人」の育成を目指して交流事業を開始、平成18年2月16日に設立された「平成・南部藩」事業の一つとして平成18年から事業継続している。元号改正に伴い「令和・南部藩寺子屋交流」と事業名称を変更した。 ○ 根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じてコミュニケーション能力等を高めリーダー性を向上させるとともに、遠野市を学び伝え、八戸市の歴史や文化の学びから遠野市を振り返り、郷土の歴史や自然の良さについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、市の将来を担う人材の育成を目指して取り組んだ。 		評価	達成
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野市内小学校11校の代表児童が八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の特色ある文化について学ぶことができた。 ○ 学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしてのあり方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自ら振り返り、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。 ○ 令和元年6月3日から「令和・南部藩寺子屋交流事業」と名称変更し事業推進している。 <ul style="list-style-type: none"> 1 受入交流 7月24日から7月26日まで 八戸市児童43人が来遠 遠野市児童26人が交流 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで 遠野市児童26人が八戸市を訪問 			

事業費名	特別支援教育推進事業費	令和元年度 決算額	19,950,160円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「知」に位置付けて事業を実施した。 ○ 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、学級担任の補助等を行う特別支援教育支援員を配置した。 ○ 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置した。 		評価	達成
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習や生活面において、特性に応じた適切な指導と必要な支援を行うことで、学校生活へのより良い適応が図られるとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【特別支援教育支援員の配置】 19人（内訳：小学校 8校 16人、中学校 3校 3人） ○ 学習指導講師（1人配置）の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導を 9校10人の児童に実施した。うち、児童3人が「ことばの教室」を退級することができた。 			

事業費名	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	令和元年度 決算額	1,940,938円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「徳」に位置付けて事業を実施した。 ○ 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、その他OB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さについて授業を通じて伝えた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全小学校で、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来について考えるきっかけづくりとなった。 ○ 夢や目標を持つこと、夢に向かって努力することの大切さや相手を思いやる心について授業を通じて学ぶことができた。 			

事業費名	学力向上対策事業費	令和元年度 決算額	19,214,685円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」のうち「知・徳」に位置付けて事業を実施した。 ○ 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置した。 ○ 市内小中学生（小2～中3）対象の標準学力検査（NRT）及び（小2・4・6、中2）対象の知能検査の実施により個々の学力の実態を把握し、学習支援・指導に取り組んだ。 ○ 中学校区ごとの共通取組項目「授業改善のための2つの視点」及び「遠野市授業づくりスタンダード」に基づいた、授業交流会や授業力向上のための「一人一授業」を実施した。 ○ 教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、市内小中学校へ還元した。 	評価	概ね達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準学力検査及び知能検査の分析結果によって明らかとなった児童生徒個々の実態をもとに、中学校区ごとの共通取組項目「授業改善のための2つの視点」及び「遠野市授業づくりスタンダード」に基づいた、小中学校の連携による授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組みにより授業力の向上が図られた。 【標準学力検査及び知能検査の実施】 1回 ○ 第2次学力向上取組の前期最終年度となる令和元年度においては、これまでの成果や課題、児童生徒の現状を踏まえ「遠野市学力向上アクションプラン」を作成し、市内小中学校の全教員で情報共有を図った。また、先進的に研究を進め、実践している小中学校への視察研修の実施や外部講師を招へいして研修会を実施するなどして、授業の質の向上につなげた。 【教育研究発表会等の開催】 2回 【学校公開研究会の実施】 3校で各1回 ○ 遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めるとともに、市内中学校の教員への支援を行った。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。 【教育相談員の配置】 4人 			

事業費名	特定教科集中対策事業費	令和元年度 決算額	4,471,251円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知・徳・体」の「知」に位置付けて事業を実施した。 ○ 市内中学校に、特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科（数学）について、チームティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上に取り組んだ。 ○ 市内中学校に在籍する生徒を対象に、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲の向上に取り組んだ。 ○ 日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定受験（対象：中学3年生）に要する経費に対し補助金の交付及び英検 I B A（英語能力測定テスト）受験（対象：中学1・2年生）に要する経費を市が負担し英語力の向上に取り組んだ。 ○ 実用英語技能検定合格を目指す中学3年生を対象として、英語検定に精通した講師による英検対策講座を実施した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特定教科学習支援員を学校規模に応じて配置し、数学の授業においてチームティーチングや家庭学習支援を行うことで、生徒一人一人の実態に応じた指導・支援を実施した 【特定教科（数学）学習支援員の配置】 4人 ○ 「読む、書く、聞く、話す」の英語の4技能をバランスよく伸ばし生きた英語を身に付けることができるよう、英語検定の受験費用を補助することにより、目標を持って英語の学習に取り組める環境をつくることができた。 ○ 英検 I B Aの受験により生徒個々が学力を把握する機会を得るとともに、学習の目標づくりや教員の指導の充実につなげることができた。 【実用英語検定受検者】 203人 ○ 英語検定合格に向けた対策講座に多くの生徒が参加し、英語学習に取り組んだ。 			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>土淵小学校校舎大規模改造工事や市内小中学校の普通教室等に空調設備設置工事を実施し、児童生徒が快適に学習できる教育環境の整備を図った。</p> <p>児童生徒がより質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。また、G I G Aスクール構想に基づく環境整備を行うための準備として、ネットワーク整備の調査及び設計業務の委託発注準備を進めた。</p> <p>さらに、スクールバス等の運行による通学対策の実施、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給、特別支援教育への支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題	<p>建築後相当の年数が経過している学校施設等については、引続き施設の維持補修を図るとともに、計画的に改修・長寿命化を進め、児童・生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるように教育環境の整備を行っていく必要がある。</p> <p>GIGAスクール環境整備事業は、令和3年3月の供用開始に向け、関係部署等と連携を図りネットワークの整備及び端末の整備を進める必要がある。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	小学校管理費（繰越明許費）	令和元年度 決算額	76,904,540円	
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業を活用した空調設備設置工事を実施し、学習環境の改善を図った。 ○ 平成31年3月に国庫補助金の交付決定を受けたため、年度内の工事発注が困難であることから事業を令和元年度に繰り越した。 ○ 入札契約は「遠野市立中学校空調設備設置（その1）工事」との合併入札、分離契約とした。 【事業の概要】 工 期 令和元年12月9日から令和2年3月13日まで 工事内容 普通教室及びパソコン室等に空調設備を設置 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通教室及びパソコン室等に空調設備を設置し、夏季の猛暑時においても児童が快適に学習できる環境の整備を図った。 ○ 保健室に空調設備が設置されていない学校についても、この事業に併せて空調設備を設置した。 ○ 入札残により工事施工箇所を追加し、鱒沢小学校3階普通教室に空調設備を設置した。 【事業の実施内容】 1 遠野市立小学校空調設備設置（その1）工事 工事实施校：遠野小学校、遠野北小学校、綾織小学校、附馬牛小学校、鱒沢小学校 工事費：73,947,500円 2 花巻清風支援学校遠野分教室小学部空調設備設置工事 工事費：1,101,600円 3 上郷小学校保健室空調設備設置工事 工事費：680,400円 綾織小学校保健室空調設備設置工事 工事費：594,000円 青笹小学校保健室空調設備設置工事 工事費：581,040円 			

事業費名	小学校管理費	令和元年度 決算額	120,985,182円	
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
取組状況	○ 市内小学校の普通教室及びコンピュータ教室等に空調設備を設置し、学習環境の改善を図った。	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年1月20日付けで遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事請負契約を締結し、令和2年2月7日付けで同工事の工事監理業務委託契約を締結したが、空調設備資機材の調達が困難で年度内の工事完成が見込めないため、事業費84,975,000円を令和2年度に繰り越した。 ○ 入札契約は「遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事」と合併入札、分離契約とした。 			

事業費名	小学校大規模改造整備事業費（繰越明許費）	令和元年度 決算額	8,356,575円		
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当				
取組状況	○ 土淵小学校大規模改造（第1期）工事で予定していた特別教室の工事が令和元年度に変更されたため、併せて特別教室等で必要な備品を整備した。	評価	達成		
成果	○ 各教室に備品を整備し、学習環境の充実を図った。 1 備品購入（主な購入品） 普通教室：教師用机、椅子、教卓、給食台、整理棚、カーテン 特別支援教室：教師用机、椅子、教卓、カーテン 理科室：実験台、椅子、実験用遮熱板、カーテン 図工室：カーテン 児童会室：椅子、収納庫 家庭科室：調理台、椅子、洗濯機、カーテン 昇降口：玄関マット パソコン室：収納庫 音楽室：収納庫 放送室：収納庫				

事業費名	小学校大規模改造整備事業費	令和元年度 決算額	242,751,500円		
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当				
取組状況	○ 土淵小学校校舎は、平成30年度の校舎大規模改造（第1期）工事に引き続き、第2期工事を行った。 ○ 工事の進捗状況に併せて教室等で必要な備品を整備した。	評価	達成		
成果	○ 校舎大規模改造（第2期）工事及び備品整備を実施し、学習環境の整備を図った。 1 校舎大規模改造（第2期）工事の内容 ・内部改修：各教室（普通教室4室、特別支援教室2室、理科室、家庭科室、図工室、音楽室、図書室、パソコン室、ワークルーム、児童会室、放送室、第2用具室）及び廊下の天井、床、壁の改修、建具の再塗装 ・外部改修：屋根・外壁塗装、躯体ひび割れ補修、サッシ改修 ・設備改修：換気設備、暖房設備、給排水管設備、衛生器具改修、屋内照明LED化、音響設備更新 ・高学年用トイレ改修、職員用トイレ新設 ・昇降口前排水改修、舗装改修 2 業務委託（工事監理業務） 3 備品整備（主な購入品） ・普通教室：カーテン・図書室：書架、パソコンデスク、閲覧用机、椅子、カーテン ・パソコン室：パソコンデスク、教師用机、椅子、カーテン・音楽室：椅子、カーテン ・ワークルーム：テーブル、椅子、椅子用台車・放送室：カーテン・用務室：カーテン ・児童会室：テーブル				

事業費名	小学校体育館大規模改造整備事業費	令和元年度 決算額	4,510,000円		
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当				
取組状況	○ 土淵小学校屋内運動場は、昭和53年12月に建築され、老朽化が進んでいることから施設の長寿命化を図るため、体育館大規模改造設計業務を委託した。	評価	達成		
成果	○ 学校の意見を可能な限り取り入れた内部仕上げ改修のほか、省エネにも配慮した設計とした。 ○ 令和2年3月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の完成が困難であることから、事業費 112,614,000円を令和2年度に繰り越した。				

事業費名	通学対策費（小学校）	令和元年度 決算額	22,741,844円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。 ○ 遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曽部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバス等を運行した。 ○ 路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配布した。 ○ 青笹小に通学する瀬内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行した。 ○ 遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に通学費の助成を行った。 ○ 教育課程における児童の移動のため、スクールバスの特別運行を行った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。 【スクールバス等の運行】 バス5台、ワゴン3台、タクシー1台 ○ 遠距離通学児童のうちスクールバス等の利用対象とならない児童に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 【遠距離通学費補助金】 支給児童数 20人 ○ 学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。 【スクールバス特別運行】 運行件数 259件 ○ 全てのスクールバス及びスクールワゴンにドライブレコーダーを設置し、運行時の児童の防犯上の安全確保及び運転手の安全運転に対する意識啓発を図った。 			

事業費名	教材整備費（小学校）	令和元年度 決算額	55,461,268円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備を行った。 ○ 国補助を活用し、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を整備した。 ○ 令和2年度からの小学校使用教科書の改訂に伴い、教師用教科書を購入するとともに、児童の学力の向上に資することを目的に、指導書、指導教材及び資料を整備した。 	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動に必要なとなる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためパーソナルコンピュータの借上げを行った。 【教材備品購入 67品目、図書購入 1,401冊、パーソナルコンピュータ借上げ 437台】 ○ 理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。 遠野小学校：デジタル酸素濃度チェッカー、流水の働き実験器…等 遠野北小学校：プラスチック封入昆虫標本、流水の働き実験器 達曽部小学校：顕微鏡、音の実験器、腕の筋肉構造模型…等 鱒沢小学校：大型教授用分数説明板、プログラミングスイッチ…等 ○ 令和2年度教科書改訂後の教師用教科書、指導書、指導教材及び資料を購入し、児童の学力向上に資するための資料整備を図った。 【教師用教科書 1,089点、教師用指導書 1,253点、指導教材・資料 135点】
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	就学援助費（小学校）	令和元年度 決算額	14,068,111円																									
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課																											
取組状況	○ 経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。	評価	達成																									
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【対象児童数 179人】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">学用品費（175人）</td> <td style="width: 33%;">1,956,480円</td> <td style="width: 33%;">通学用品費（142人）</td> <td style="width: 33%;">310,688円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（175人）</td> <td>338,667円</td> <td>新入学用品費（5人）</td> <td>253,000円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（25人）</td> <td>616,956円</td> <td>通学費（2人）</td> <td>16,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（1人）</td> <td>216円</td> <td>P T A会費（129人）</td> <td>417,472円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（45人）</td> <td>440,963円</td> <td>学校病医療通院費（28人）</td> <td>42,900円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（173人）</td> <td>6,711,909円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 新入学学用品費入学前支給対象児童数及び支給額 小学校（31人） 1,582,860円、中学校（23人） 1,380,000円 	学用品費（175人）	1,956,480円	通学用品費（142人）	310,688円	校外活動費（175人）	338,667円	新入学用品費（5人）	253,000円	修学旅行費（25人）	616,956円	通学費（2人）	16,000円	クラブ活動費（1人）	216円	P T A会費（129人）	417,472円	学校病医療費（45人）	440,963円	学校病医療通院費（28人）	42,900円	学校給食費（173人）	6,711,909円					
学用品費（175人）	1,956,480円	通学用品費（142人）	310,688円																									
校外活動費（175人）	338,667円	新入学用品費（5人）	253,000円																									
修学旅行費（25人）	616,956円	通学費（2人）	16,000円																									
クラブ活動費（1人）	216円	P T A会費（129人）	417,472円																									
学校病医療費（45人）	440,963円	学校病医療通院費（28人）	42,900円																									
学校給食費（173人）	6,711,909円																											

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（小学校）	令和元年度 決算額	0円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育I C T環境を構築するため、高速大容量のネットワークと児童一人一台端末の整備に向け準備を進めた。 ○ ネットワーク整備にあたり、現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計業務委託発注準備作業を進めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度の整備に向けた調査及び設計業務委託の準備作業を行った。 ○ 予算は、令和2年度に繰り越し、調査設計業務を委託して事業の推進を図る。 			

事業費名	中学校管理費（繰越明許費）	令和元年度 決算額	27,421,900円	
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業を活用した空調設備設置工事を実施し、学習環境の改善を図った。 ○ 平成31年3月に国庫補助金の交付決定を受けたため、年度内の工事発注が困難であることから事業を令和元年度に繰り越した。 ○ 入札契約は「遠野市立小学校空調設備設置（その1）工事」との合併入札、分離契約とした。 【事業の概要】 工 期：令和元年12月9日から令和2年3月13日まで 工事内容：普通教室等に空調設備を設置 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通教室等に空調設備を設置し、夏季の猛暑時においても生徒が快適に学習できる環境の整備を図った。 【事業の実施内容】 遠野市立中学校空調設備設置（その1）工事 工事実施校：遠野中学校 工 事 費：27,421,900円 			

事業費名	中学校管理費	令和元年度 決算額	43,877,486円	
令和2年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野東中学校の普通教室及び遠野西中学校の普通教室、パソコン室に空調設備を設置し、学習環境の改善を図った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年1月20日付けで遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事請負契約を締結し、令和2年2月7日付けで同工事の工事監理業務委託契約を締結したが、空調設備資機材の調達が困難で年度内の工事完成が見込めないため、事業費40,759,000円を令和2年度に繰り越した。 ○ 入札契約は「遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事」と合併入札、分離契約とした。 			

事業費名	通学対策費（中学校）	令和元年度 決算額	52,152,441円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。 ○ 遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス等を運行した。 【対象】遠野中のうち綾織小及び附馬牛小の区域の生徒 遠野東中のうち土淵小及び上郷小の区域の生徒 遠野西中のうち小友小、達曾部小及び鱒沢小の区域の生徒 ○ 教育課程における生徒移動のため、スクールバスの特別運行を行った。 	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。 【スクールバス等の運行】 遠野中 6 台、遠野東中 6 台、遠野西中 6 台 ○ 学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。 【スクールバス特別運行】 運行件数 184件 ○ 全てのスクールバス等にドライブレコーダーを設置し、運行時の生徒の防犯上の安全確保及び運転手の安全運転に対する意識啓発を図った。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	教材整備費（中学校）	令和元年度 決算額	12,382,362円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備を進めた。 ○ 国補助を活用し、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を整備した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動に必要となる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行った。 【教材備品購入数 22品目、図書購入 621冊、パーソナルコンピュータ借上げ 197台】 ○ 理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。 遠野中学校：大型LED光学台、電源装置 遠野東中学校：耐震型薬品庫、デジタル顕微鏡…等 遠野西中学校：大型LED光学台、電子てんびん…等 			

事業費名	就学援助費（中学校）	令和元年度 決算額	13,786,227円																									
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課																											
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。 	評価	達成																									
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【対象生徒数 109人】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">学用品費（108人）</td> <td style="width: 25%;">2,378,556円</td> <td style="width: 25%;">通学用品費（70人）</td> <td style="width: 25%;">152,625円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（108人）</td> <td>426,246円</td> <td>新入学用品費（11人）</td> <td>631,400円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（33人）</td> <td>2,397,636円</td> <td>クラブ活動費（104人）</td> <td>1,896,645円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（105人）</td> <td>219,500円</td> <td>P T A会費（90人）</td> <td>230,200円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（23人）</td> <td>302,140円</td> <td>学校病医療通院費（3人）</td> <td>4,680円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（108人）</td> <td>5,146,599円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	学用品費（108人）	2,378,556円	通学用品費（70人）	152,625円	校外活動費（108人）	426,246円	新入学用品費（11人）	631,400円	修学旅行費（33人）	2,397,636円	クラブ活動費（104人）	1,896,645円	生徒会費（105人）	219,500円	P T A会費（90人）	230,200円	学校病医療費（23人）	302,140円	学校病医療通院費（3人）	4,680円	学校給食費（108人）	5,146,599円					
学用品費（108人）	2,378,556円	通学用品費（70人）	152,625円																									
校外活動費（108人）	426,246円	新入学用品費（11人）	631,400円																									
修学旅行費（33人）	2,397,636円	クラブ活動費（104人）	1,896,645円																									
生徒会費（105人）	219,500円	P T A会費（90人）	230,200円																									
学校病医療費（23人）	302,140円	学校病医療通院費（3人）	4,680円																									
学校給食費（108人）	5,146,599円																											

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（中学校）	令和元年度 決算額	0円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境を構築するため、高速大容量のネットワークと生徒一人一台端末の整備に向け準備を進めた。 ○ ネットワーク整備にあたり、現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計業務委託発注準備作業を進めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度の整備に向けた調査及び設計業務委託の準備作業を行った。 ○ 予算は、令和2年度に繰り越し、調査設計業務を委託して事業の推進を図る。 			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	③ 学校給食の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>学校給食における7つの目標を達成するために、安心安全な給食を提供した他、望ましい食習慣が身につくよう、訪問指導等を行った。また、食材費の一部を市が負担し、栄養面と内容の充実を図った。</p> <p>交流すまいる給食などでは、郷土料理の他、地場産業にも触れることができた。</p>
課題	<p>地産地消を推進するため、地場産の野菜を積極的に使用しているが、野菜の種類や数量については、天候等の影響を受けるため安定的な供給が求められる。</p>

事業費名	学校給食事業費	令和元年度 決算額	210,003,505円	
令和2年度 事業所管課	学校給食センター			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内小中学校の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成すること、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施した。 ○ 学校給食の実施に当たっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安心安全なおいしい給食の提供に努めた。 	評価	概ね達成	

成果	<p>○ 全ての市立小・中学校(14校)で家庭教育ゼミナールを開催した。今年度は、学校・家庭・地域において大きな課題となっている「情報モラル」のほか「家庭内でのコミュニケーション」や「生活習慣」に係る内容など、各地区の課題に対応した講演会を企画・開催し、家庭・地域の教育力の向上と子ども達の健やかな成長に資することができた。 【家庭教育ゼミナール等】 開催回数 14回、参加者数 1,125人</p> <p>○ 学校・PTA・地域による実践活動についての事例発表を行う「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭内でのコミュニケーション」をテーマとした「家庭教育講演会」を同時開催し、地域全体で子どもたちを育てる機運を高めることができた。 【家庭教育講演会】 開催回数 1回、参加者数 200人</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(3) 高等学校への支援
施策の展開	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野高等学校と遠野緑峰高等学校の2校存続に向け入学者数の確保を図るため、市内外及び市民への高校魅力化の活動発信に取り組んだ。</p> <p>特にも、遠野緑峰高等学校情報処理科の令和2年度入学者数が前年比で増加となった。このことは、高校魅力化アクションプランに基づく支援のもと取り組んだ生徒の活躍等、同校の魅力を市内外に発信できたことによると考えられる。</p> <p>奨学資金の貸与は、経済的事由により就学が困難な学生に対して学資の貸与を行い、人材育成に取り組んだ。</p>
課題	<p>少子化・人口減少が進行するなかで、2校体制を存続させるためにも入学者数の確保が不可欠であることから、高校魅力化の充実への支援及び県内外の中学生及び保護者への魅力発信と受入体制整備の支援に取り組む必要がある。</p> <p>奨学資金の貸与は、これまでの奨学生の償還金によって行われていることを周知するとともに、催告や納付相談を行い定期的な納付の促進及び長期滞納者の解消に努める。</p>

事業費名	高校魅力化サポート事業費	令和元年度 決算額	6,900,461円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<p>○ 「高校魅力化アクションプラン」に基づく市内高等学校の魅力向上の活動支援をはじめ、活動について市内外の中学生等への発信、市民フォーラム開催による市民への周知により入学者数の確保に取り組んだ。</p> <p>○ 両校への通学にあたって、公共交通機関を利用している生徒の保護者に対し通学費の補助を行うことで経済的な負担を軽減し、入学者数の拡大に取り組んだ。</p>	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校魅力化市民フォーラムの開催 市民を対象としたフォーラムを開催。高校生による活動発表や先進地事例紹介等を行い市民の高校魅力化の活動について理解を深めるとともに、両校の魅力発信を行った。 【高校魅力化市民フォーラム 参加者数】 116人 ○ 市内高校が取り組む高校魅力化推進事業への補助金交付 <ul style="list-style-type: none"> 1 学校紹介パンフレット、ビデオ及び学園祭チラシ作成支援 (両校) 2 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援…等 (遠野高校) 3 資格取得の検定料支援、農業クラブ全国大会出場支援…等 (緑峰高校) ○ 市内高校通学費補助金 公共交通機関等を利用した経費の半額を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 【市内高校通学費支援】 90人 【令和2年度入学状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・遠野高校 普通科 94人 (対前年度 △30人) ・遠野緑峰高校 生産技術科 29人 (対前年度 △6人) <li style="padding-left: 40px;">情報処理科 28人 (対前年度 5人)
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	育英事業費	令和元年度 決算額	36,821,707円	
令和2年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀で経済的事由により就学困難な学生に対して学資の貸与を行い、有能な人材育成に寄与する取組を実施した。 ○ 平成20年度から、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。 <p>貸与額</p> <p style="padding-left: 20px;">高校生 15,000円以内/月</p> <p style="padding-left: 20px;">大学生等 40,000円以内/月</p>		評価	達成
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規奨学生の募集を行い、新たに31人の奨学生を決定し、継続奨学生50人と合わせて81人に奨学金を貸与した。 ○ 令和2年3月末で、新規奨学生のうち1人、継続奨学生のうち25人の計26人が貸与期間を満了した。 【貸付状況】 <ul style="list-style-type: none"> 新規奨学生 13,980,000円 (31人うち大学生等28人、高校生3人) 継続奨学生 22,800,000円 (50人うち大学生等46人、高校生4人) <li style="padding-left: 40px;">計 36,780,000円 			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(1) 社会教育の充実
施策の展開	① 総合推進体制の整備 ② 家庭や地域教育の充実 ③ 成人教育の充実 ④ 高齢者教育の充実 ⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成

施策の展開に係る全体総括	生涯学習講座の実施や社会教育関係団体活動の支援のほか、講師やサークルの情報等をまとめた生涯学習ガイドブックを作成し、市民の学びの充実を図った。
課題	社会教育に関係する機関・団体同士の連携を図り、効果的に事業を実施する等生涯学習推進体制の充実を図る。

事業費名	みらい創りカレッジ推進事業費	令和元年度 決算額	7,826,200円	
令和2年度事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	○ 旧土淵中学校を活用した「遠野みらい創りカレッジ」において、民間企業や新たにオープンする食育カフェと連動した交流・産業創造・人材育成を図るための各種プログラムを企画運営した。 【遠野みらい創りカレッジ運営業務】 ・遠野みらい創りカレッジを活用した地域振興プログラム ・産学官民連携による人材育成・交流創出・価値創造・地域商品開発プログラム ・市内学校の魅力化に資する総合学習等支援プログラム ・テレワークセンターの利用促進プログラム	評価	達成	
成果	○ 新たにオープンした食育カフェを核として、遠野みらい創りカレッジを交流人口拡大と地域活動の発信の場とすることを目指し、地域・企業・学校等と連携イベントを実施した。 ○ 市内はもちろんのこと、県内外から企業・自治体・大学等を受け入れ、ワークショップやフィールドワーク等を通じた学習事業のコーディネートを行う等、廃校となった旧校舎を有効活用することで新たな交流の場を提供することができた。 【プログラム実施実績】 13事業、利用者数 6,245人			

事業費名	学びのまちづくり推進事業費	令和元年度 決算額	53,906,888円	
令和2年度事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	○ 生涯学習の推進と社会教育の充実のため、地域住民の要求課題と地域づくりに向けた必要課題を踏まえた学習機会の創出を図った。 ○ 生涯学習及び芸術振興に係る業務を外部委託し、民間ノウハウを活用した事業を展開し、豊かな生活を推進した。 ○ 各地区公民館を拠点に、機能を活かした課題の把握と市民の年齢層、地域の特徴を把握したうえでの学習機会の創出を図った。 ○ 姉妹都市等との交流事業の充実を図る等、国際交流を推進した。	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習講座、芸術振興事業に関する事業を外部委託し、民間活力を活かした事業を推進したほか、国際交流の推進を図ることができた。 1 生涯学習事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 外部委託した事業 <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習事業（郷土理解講座等） ②青少年活動サポート事業（少年少女ふるさと発見探偵団等） (2) 地区公民館事業 <ul style="list-style-type: none"> ①高齢者大学 ②つるしびな教室等 2 芸術振興事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民センター自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ①ケロボンズファミリーコンサート ②“わ”で奏でる東日本応援コンサート (2) 青少年劇場 <ul style="list-style-type: none"> ①語り芝居「美しいことば美しいひびき」 (3) 市民芸術祭 <ul style="list-style-type: none"> ①舞台合同発表会 ②総合展示会等 (4) 遠野少年少女合唱隊 <ul style="list-style-type: none"> ①第30回発表会の開催 ②各種イベントへの出演等 (5) 遠野市民センターバレエスタジオ <ul style="list-style-type: none"> ①第42回発表会の開催等 3 国際交流事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 関係機関・団体と組織している遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会を支援し、姉妹都市等との交流事業を展開し国際交流を推進した。 (2) 市内在住の外国人を対象に日本語等の指導をしている団体に対して補助金を交付し、地域国際化の推進を図った。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	令和元年度 決算額	1,101,763円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育関係団体として、青少年の育成等に取り組む団体と、女性団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。 ○ 新成人が主体的に成人式式典を運営するために、成人式実行委員会を組織し活動することにより、地域のために活動する意識の醸成を図った。 ○ 令和2年度に策定する予定の第4次遠野市男女共同参画基本計画に向けて、広く男女共同参画について啓発する事業を実施した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年の育成に取り組む社会教育関係団体である遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、地域で活動する仲間づくりにつながる各種事業への取組を支援した。 ○ 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む社会教育関係団体である遠野市地域婦人団体協議会に対し補助金を交付し、活動に対する助言や支援を行った。 ○ 新成人が主体的に式典を運営するために、成人式実行委員会を組織し、式典の企画や運営を自ら行うことで新成人としての意識を高めることができた。さらに、青年団体協議会の会員や前年度の成人式実行委員が活動を支援することにより、青年同士のつながりの醸成と地域のために活動する意識の醸成を図ることができた。 ○ 男女共同参画の推進を図るため、遠野市地域婦人団体協議会と連携した啓発事業を実施するとともに、令和2年度に策定する予定の第4次遠野市男女共同参画基本計画に向けたアンケート調査を実施した。 			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	令和元年度 決算額	2,825,804円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○ 高齢者の健康保持と増進、生きがいを高めるとともに親睦を図り社会福祉の向上に寄与するため、各種スポーツ大会や文化事業などを開催及び実施に係る支援を行った。</p> <p>○ 生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりに取り組む老人クラブ活動を支援することにより、高齢者の自立した生活、生きがいある生活の実現に取り組んだ。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○ 高齢者が生きがいを持ち健やかに生活できるよう、老人クラブが行う自主的な活動等を支援した。岩手県老人クラブ大会へ参加し、高齢者相互の連携を深める活動を支援した。</p> <p>1 各種スポーツ大会 ①生き生き高齢者体力測定：40人 ②女性部グラウンドゴルフ大会：約100人 ③さわやかスポーツ大会：約380人 ④グラウンドゴルフ大会：185人 ⑤いきいきシニアスポーツ大会：81人 ⑥健康ウォーキング：70人</p> <p>※ ゲートボール・ペタンク大会は雨天のため中止。室内競技大会は新型コロナウイルス感染症予防のため中止。</p> <p>2 その他事業 ①岩手県老人クラブ大会：25人 ②シルバー文化祭(舞台部門)：約500人 ③リーダー研修会：165人 ④女性部事業：30人 ⑤シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)：20人 ⑥環境整備ボランティア：135人</p>			

事業費名	放課後子どもプラン推進事業費	令和元年度 決算額	2,468,208円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○ 子どもたちの家庭学習の習慣化を目的に、地域の方々の参画を得て自主学習の場を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。</p> <p>○ 学習アドバイザー、安全管理員を配置し、放課後の宿題・自主学習の支援した。11小学校区で実施。</p>	評価	達成	
成果	<p>○ 放課後における子供の居場所として、児童が安心して勉強する場を提供することができた。</p> <p>○ ほとんどの学校から、「家庭学習の習慣化に寄与した。」との評価を得た。 【教室開催実績】 11教室、413日開催、のべ利用者10,046人、1日あたり24.3人利用。</p>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(2) 芸術文化活動の推進
施策の展開	① 芸術文化団体の育成と支援 ② 創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る全体総括	遠野市芸術文化協会及び市民の舞台制作団体へ事業費を補助し、市内における芸術文化活動を支援した。 年齢層を絞った芸術鑑賞事業を開催する等し、市民が芸術文化に触れる機会をつくることができた。
課題	本市における芸術文化活動が持続可能なものになるように、子どものうちから優れた芸術文化に触れる機会をつくる等、芸術文化活動の次代を担う人材育成に努める。

事業費名	芸術文化振興事業費	令和元年度 決算額	1,900,000円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	○ 市内における芸術・文化の振興を図ることを目的として、芸術文化関係団体に事業費を補助した。	評価	未達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民センター自主事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ケロボンズファミリーコンサート 6月30日 鑑賞者：250人 ・“わ”で奏でる東日本応援コンサート 10月5日 鑑賞者：800人 ○ 芸術文化団体へ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・第13回遠野市民芸術祭 10月19日、11月2・3日、参加者：480人、鑑賞者：1,895人 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 ・芸術文化協会等主催事業 7回、参加者：401人、鑑賞者：1,892人 ○ 市民協働による活動発表の提供 第45回記念公演 市民の舞台遠野物語ファンタジー 「座敷わらしの白い花」開催 2月22日、23日の3回公演、参加者：300人、鑑賞者：1,732人 			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	① 博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>特別展や講座等を開催し、市内外へ情報発信を行い交流人口の拡大に努めた。</p> <p>令和元年4月～令和2年2月までの入込は、前年を上回っていたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月の入込が大幅に減ったため、通年では前年度比97%の入込となった。</p> <p>市民からの寄贈資料を活用した企画展「遠野なつかしの映画チラシ展」を開催し、資料の有効活用を図った。</p>
課題	<p>博物館教室や特別展に合わせた講座等を開催し、博物館講座等の受講者数は、まちづくり指標の目標値を達成したが、博物館入館者数は未達成であることから、魅力的な特別展やイベントの開催、情報発信の強化などを図る必要がある。</p>

事業費名	博物館費	令和元年度 決算額	12,156,732円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別展や記念イベントを開催、市内外に情報を発信し、交流人口の拡大を図った。特別展「遠野物語と神々」や企画展「えほん遠野物語原画展」「小島功原画展」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催した。 ○ 児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。 ○ 市民対象の展示解説会や教室を開催し、文化に親しむ機会を提供した。 ○ 博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努めた。 	評価	概ね達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別展「遠野物語と神々」や企画展「えほん遠野物語原画展」「小島功原画展」を開催した。 ○ 遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催して、商工会と連携し中心市街地への集客に努めた。 ○ 「遠野なつかしの映画チラシ展」を開催し、寄贈資料の有効活用を努めた。 ○ 児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。 <p>1 企画展「えほん遠野物語原画展」 入館者数：2,378人 2 特別展「遠野物語と神々」 入館者数：5,794人 3 企画展「小島功原画展」 入館者数：1,104人 4 企画展「遠野なつかしの映画チラシ展」 入館者数：646人 5 特別展「遠野のひな人形」 入館者数：1,429人</p> <p>【博物館入館者数】 17,633人 【博物館講座等の受講者数】 1,333人</p>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	② 図書館活動の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>図書館の利用促進と読書の普及活動を図ることを目標に、館内・館外における図書サービス事業を展開し、利用者の拡大と読書の普及活動に努めた。</p> <p>学校、児童館、福祉施設等との連携を図り、計画的な図書の貸出及び配架の充実に努めた。貴重な図書館資料、郷土資料の情報収集や、整理・保存の適正な管理に努めた。</p>
課題	<p>図書館における所蔵図書の更なる利用拡大と、市民がより利用しやすく親しみやすい図書館としての環境づくりが必要。</p>

事業費名	図書館費	令和元年度 決算額	23,307,666円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書普及及び図書館の利用促進をはじめ、図書館資料の収集保存、施設貸出を含めた館外図書サービス活動の提供、ボランティアグループへの支援等に努めた。 ○ 図書館総合情報システムを活用し、図書館業務の効率化・迅速化と、利用者の利便性を図った。 ○ 図書館の利用促進につなげるため、広報紙・ホームページ等を活用し、最新図書・企画展開催等の情報発信に努めた。 ○ 学校図書館をはじめ、児童館・地区センター・福祉施設と連携し定期的に配架図書の入れ替えを行い、貸出図書の充実に努めた。 ○ 移動図書館車を市内全域で計画的に運行し、交通弱者等の方への読書普及に努めた。 ○ まちなか図書館の有効活用や、ブックスタート事業の実施により市民が読書に親しめる環境づくりに努めた。 ○ 貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集と、整理・保存の適切な管理に努めた。 	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 館内図書サービスをはじめ、年8回の企画展開催や、ボランティアグループによる毎月の読み聞かせ等を実施し、利用者が本に親しむ読書環境を提供した。 ○ 児童を対象にした図書館教室、総合学習に合わせた図書の貸出、多読者表彰の実施による図書館の利用促進と読書普及を図るとともに、中高校生の職場体験学習及び社会人の社会体験研修の受け入れにより、図書館業務の理解を深めることができた。 ○ 移動図書館車を市内全域に計画的に巡回運行し、交通弱者等の利用者の読書普及と利便性を図った。 ○ 図書館講座「本の修繕」についての研修会を中部教育事務所との連携で開催し、読書ボランティアの資質向上を図った。 ○ 平成30年度に引き続き、水損被害を受けた図書資料を用いた講習会「水損図書レスキュー体験 I N岩手県立博物館」を開催し、資料救出活動を行う人材育成に努めるとともに、貴重な郷土資料、図書館資料の適切な保存、管理に努めた。 <p> 【図書館の利用者数】 15,505人 【市民への図書貸出冊数】 59,465冊 【移動図書館車の貸出冊数】 11,124冊 【学校図書館等への貸出冊数】 21,930冊 </p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	視聴覚教育振興費	令和元年度 決算額	370,551円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館視聴覚ホール、児童館等の施設を利用した親子や児童向け映画会を定期的に開催し、映像による視聴覚教育の推進に努めた。 ○ 教材の計画的な整備進め、学校・児童館等への学習機材の利用普及に努めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども映画会等 26回 延数 557人 ○ 教材利用数 53本 			

事業費名	ブックスタート事業費	令和元年度 決算額	274,573円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本をとおした触れあいの中から、お互いに幸せを感じ成長するための機会をつくった。 ○ 1歳児健康相談時に合わせ、絵本の読み聞かせを行うことで、小さい時から本と触れあうことにより、本に興味をもってもらうきっかけをつくった。 	評価	達成	

<p>成果</p>	<p>○ 遠野健康福祉の里において、1歳児健康相談時に絵本と絵本入れバッグを配布するとともに、ボランティアグループによる絵本等の読み聞かせを行いながら、子どもたちが本と触れあう大切な時間を提供できた。同時に本の紹介、図書館利用の案内等を行い、図書館利用の促進を図ることができた。</p> <p>○ 参加できなかった対象者には、後日、民生児童委員を通じて絵本とバッグを配布した。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3月の1歳児健康相談が中止となったため、その対象者には民生児童委員等を通じて絵本とバッグの配布を行った。</p> <p>配付対象者 157組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳児健康相談時に配布 118組 ・ 民生児童委員等による配布 39組 ・ 対象者に対する配布率 100%
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保護と継承
施策の展開	① 文化財調査・保護 ② 郷土芸能活動の推進 ③ 遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>市内にある文化財の保護を、市民協働で着実に進めた。</p> <p>市民が行う市指定文化財の修理や、郷土芸能の備品整備、発表会の開催に掛かる費用を補助した。市内で行われる開発行為に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施し、これまでの発掘調査で得られた成果について遠野まちなか・ドキ・土器館で展示し紹介した。また、埋蔵文化財への理解を深めるため、市民を対象に体験講座を開催した。重要文化財千葉家住宅については、平成28年度からの第1期保存修理工事を終え、各建物の解体工事、土蔵の修理工事が完了し、あわせて第2期以降の保存修理工事及び防災施設等工事の実施設計を行った。また、工事現場の一般公開を行い、工事後の活用に向けてシンポジウムを開催して議論を深めた。重要文化的景観選定地区の土淵山口集落では、平成30年度に策定した整備計画に基づき、市民協働で案内板の整備を実施した。遠野遺産については、新規2件、追加1件の認定を行い、ガイドブックを作成し周知に努めた。遺産の認定件数は159件となった。</p> <p>このように各種事業を実施し、当初の目標は達成された。</p>
課題	<p>将来に渡って文化財を確実に保存するためにも、更なる文化財の情報発信や活用を、市民とともに図っていく必要がある。</p>

事業費名	文化財調査保護費	令和元年度 決算額	1,642,514円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護法及び遠野市文化財保護条例に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓蒙活動を推進し、市民の文化向上と郷土愛の醸成を図った。 ○ 民俗芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場の提供等、必要な支援を行った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市指定文化財保存事業への補助、指定に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> ・登坂家住宅の屋根の修繕及び大般若経典の修復に係る費用の一部を補助した。 ・市指定天然記念物候補の上琴畑湿原について、関係者と現地確認を行い、文化財保護審議会を開催して調査の中間報告を行うなど、指定に向けた準備を進めた。 ○ 民俗芸能の保存継承 <ul style="list-style-type: none"> ・大出早池峰神楽、駒木鹿子踊、外山神楽の3団体に対し、備品整備の補助を行った。 ・発表の場の提供として、第10回記念として市外から中野七頭舞（岩泉町）、花巻農業高等学校鹿踊り部（花巻市）の2団体を招聘して開催された遠野市郷土芸能大共演会及び遠野郷神楽共演会への開催支援を行い、併せて、神楽共演会の映像記録を実施し、民俗芸能の保存継承を推進した。 			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	令和元年度 決算額	9,185,747円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 埋蔵文化財の保護と各種開発事業の円滑な実施を図るため、埋蔵文化財の分布確認・試掘・本発掘の各種調査を実施した。 ○ 墓地の造成に伴い安倍館跡の本発掘調査を実施した。 ○ 記録や出土遺物の適正な管理を行いながら公開活用に資するため資料台帳の作成を推進した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した10件について、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。 ○ 墓地の造成に伴い、安倍館跡の本発掘調査を実施し、平安時代の水路跡や住居跡等を検出した。 【開発に伴う遺跡調査】 分布調査：119件、試掘調査：10件、発掘調査：1件 ○ 平成30年度に引き続き、重要文化財千葉家住宅の主屋の一部について発掘調査を行い、千葉家の保存修理のための基礎情報を収集した。 ○ 公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を進めるとともに、企画展「よみがえる縄文 水辺の暮らしと祈り～新田Ⅱ遺跡展～」をまちなか・ドキ・土器館で開催し、出土した土器などを展示して、縄文時代の水辺の暮らしの跡の貴重な発掘成果を紹介した。また、「縄文土器作り教室」（参加者数：58人）、「勾玉作り教室」（参加者数：23人）の各文化財教室を開催するなど、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。 【市内出土遺物の資料台帳入力】 約500件 			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	令和元年度 決算額	329,609,916円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保存していくため、保存修理事業及び防災事業を実施した。 ○ 専門家委員会を開催し助言を得て、工事を円滑に進めた。 ○ 修理後により良い活用を図るため、千葉家旧蔵古文書等資料及び家財資料の整理及び調査を進めた。 	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期保存修理工事 <ul style="list-style-type: none"> ・主屋ウマヤの基礎工事、前面石垣の積直し（154.1㎡）、土蔵、石蔵の基礎及び屋根工事を実施した。 ・重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを2回開催し、復原時期を確定させ、第2期以降の保存修理工事の実施設計を進めた。 ・修理工事の状況を公開するため見学会を令和元年8月4日に開催し、市内外から255人が参加した。 ○ 防災施設等工事实施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から着工する防災施設等工事の実施設計を行った。 ○ 活用に向けた検討及び資料整理 <ul style="list-style-type: none"> ・活用に関するシンポジウムを開催し、約200人が参加して活用に向けた議論を深めた。 ・工事見学会に合わせて重文千葉家の活用を考える会とともに「いしがきまつり2019」を開催し活用を実践した。 ・千葉家周辺景観の調査、家財資料調査報告書の原稿作成を行うとともに、古文書資料調査成果を復原時期の確定に反映させ、台帳作成も進めた。 ・整備事業全体の映像記録を委託し作成した。 ・令和元年8月1日からふるさと納税に取り組み299人から6,160,000円の寄付を募ることができた。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	文化的景観保存事業費	令和元年度 決算額	10,469,795円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定地域である、荒川高原牧場及び土淵山口集落の保護を図った。 ○ 土淵山口集落については、平成30年度に策定した整備活用計画に基づき、サイン（案内誘導板や説明板）を設置した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民自らが山口集落内の整備などを行う「山口普請組」を結成し、サイン設置に向けたワークショップや景観点検を4回実施した。これを基に、山口普請組が集落内に29基のサインを設置した。 ○ 「遠野の景観」保存調査委員会とワーキンググループを4回開催しサインデザインの方角性について協議し、来訪者への分かりやすいサインについて検討を重ねた。 ○ 昨年度策定した計画を基に、地域、行政、市内移住者との協働によりサインを設置することができた。今後も三者の協働で事業を推進する。 			

事業費名	遠野遺産認定事業費	令和元年度 決算額	1,145,905円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進した。 ○ 活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行った。 ○ 新たに認定された遺産の表示板を設置、竿頭綬を作成することにより遺産の啓発に努め、ガイドブックを発行して市内外に情報発信を行った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規の遺産2件（第158号 長作堤防の記念碑とその周辺、第159号 踊り嘉兵エの墓）追加の遺産1件（第51号 稲荷穴と白石稲荷神社）を認定し、累計数が159件となった。 ○ 遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野への掲載、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 <ul style="list-style-type: none"> 【遠野遺産標示板設置】 5基 【遠野遺産認定竿頭綬】 3本 【ガイドブック作成】 3,000部 ○ みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等7件（第2号 遠野七観音・松崎観音、第3号 遠野七観音・平倉観音、第4号 遠野七観音・鞍迫観音、第19号 西風館、第56号 荒川駒形神社、第82号 村兵稲荷神社、第107号 塚沢神社と奉安殿）の保護事業が実施され、引き続き市民協働による地域づくりが推進された。 			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(3) 郷土の文化を生かした地域創生
施策の展開	① 郷土文化の調査・研究の推進 ② 次世代へのふるさと文化の継承 ③ 市史編さん事業の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>地域文化に密着したテーマの学習活動を積み重ね、目標を達成することができた。遠野の文化を継承・発展する遠野こだわりの「語り部」を、小学校等と連携を図りながら発掘し、育成した。</p> <p>また、市史編さん委員会を開催して事業計画の審議等を行うとともに、現代編集部や調査研究会議などで具体的な原稿の調整作業を行って『新編遠野市史 現代編』を刊行した。市民の調査研究員と協働して資料収集や古文書解説作業を進め、市史編さん講座の開催など教育普及事業にも努めた。</p> <p>さらに新たな施策「こども本の森構想」推進に向け準備室を設置し、事業化に向けた推進体制の構築に取り組んだ。</p>
課題	<p>遠野の文化を広く発信し、郷土の文化を担う人材の育成を図る。遠野物語発刊110周年に向けた機運醸成と発信、事業の検討を行う。今後の市史の刊行に向けて具体的な作業を進め、市史編さん事業を着実に推進していく。</p> <p>こども本の森構想推進事業においては、市民へのさらなる周知や事業の具体化に向けた各種事務手続き及び様々な関係機関との調整・連携を早急に進める必要がある。</p>

事業費名	遠野文化調査研究費	令和元年度 決算額	16,401,636円	
令和2年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努めた。 ○ 出版物の刊行や文化フォーラム等の開催により、研究成果の公開や啓発を行った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民間活力を生かした事業を推進するため、事業の一部を外部委託し実施した結果、多くの参加者等に広く遠野の文化を発信することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・遠野文化フォーラムの開催 日時：令和元年8月10日（土） 内容：佐々木喜善賞の表彰、対談、公演「東北民謡の父 武田忠一郎の贈り物 子守唄と民謡」 参加者：360人 ・市民講座 講座：映像に関する講座等、文化まちづくりネットワーク交流会 開催回数：4回 総参加者：184人 ・出版事業 遠野学叢書『遠野市の指定文化財』：300部 遠野文化フォーラム報告書：300部 			

事業費名	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	令和元年度 決算額	1,320,031円	
令和2年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置付けた。 ○ 「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度の認定者数 52人（昔話：1人、子ども語り部：30人、歴史：16人、生業：5人）で累計者数は 984人となった。 ○ 小学校などでの語り部スクーリングのほか、食や郷土芸能の語り部実技研修を開催するなどして、新たな語り部の発掘や、認定者のフォローアップに努めた。 ○ 中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して、来訪者に語りを披露するなど、まちなかの賑わい創出につなげることができた。 			

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	令和元年度 決算額	9,963,004円	
令和2年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行っている。 令和元年度 現代編刊行、令和8年度 通史編刊行（予定） 令和9年度 民俗編刊行（予定） 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催（予定） <p>※ 平成28～令和8年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>※ 遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」は、「通史編」の前に計画立てて刊行する予定。</p>	評価	達成	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市史編さん委員会を開催し事業計画の審議等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市史編さん委員会 2回 ○ 各部会や調査研究員等の協力のもと、資料調査や古文書解読作業を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・原始・古代・中世部会：4回、近世部会：1回 ・資料調査等（遠野南部家資料調査：1回、通史編に関する調査：11回、遠野南部家所蔵『御用留書』解読会：23回） ○ 現代編部会及び調査研究員会議では、具体的な原稿の調整作業を行い、『新編遠野市史現代編』を刊行した。 <ul style="list-style-type: none"> ・『新編遠野市史 現代編』刊行：500部、現代編部会・調査研究員会議：13回、原稿読み合せ会：3回、個別事項の聞き取り調査：4回 ○ 人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケートで高評価を得た。 <ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん講座：開催日：10/19、参加者：20人、古文書講座：開催回数：5回、参加者：延べ53人、古文書整理ボランティア活動：登録者：15人、活動回数：9回 ・広報活動 市広報、ホームページ等
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費名	こども本の森構想推進事業費	令和元年度 決算額	799,750円	
令和2年度 事業所管課	市民センター こども本の森拠点整備室			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年8月に開催した世界的建築家・安藤忠雄氏の講演会における遠野市へのメッセージの趣旨を踏まえ、令和元年11月に市民センター文化課内に「こども本の森構想推進準備室」を設置し、未来をつくる子どもたちを育む「本」を中心とした文化のまちづくりを推進した。 	評価	概ね達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安藤忠雄氏が提唱する「東北復興のシンボルは子どもたちの未来である」との想いと、市の「人づくり、子育て、学力向上、交流人口拡大、中心市街地活性化、インバウンド、復興支援」等、多岐にわたる全庁的プロジェクトとして形にするための推進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・こども本の森構想懇談会設置要綱による懇談会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> 懇談会：1回 11人/13人出席 ワーキンググループ会議：4回 延べ43人/52人出席 ・先進地視察研修先として、大阪市「こども本の森中之島」及びいわき市「絵本美術館」を計画したが、新型コロナウイルス感染症防止対策により中止した。 			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	① 健康づくり総合プログラムの推進 ② スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	子どもから大人までを対象とした教室を開催して運動機会の提供と習慣化に取組み、スポーツ参画人口の拡大を図ることができた。 また、スポーツイベントの開催や、スポーツ団体の運営等を支援し、競技スポーツの普及とレベルアップに努めた。
課題	ジュニアスポーツへの育成支援を強化と、スポーツ合宿等による交流人口の拡大。

事業費名	健康スポーツプログラム推進事業費	令和元年度 決算額	2,090,354円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	○ 市民センターを会場に定期的に参加できる健康スポーツ教室を開催し、運動するきっかけや機会を提供することで、スポーツ参画人口の拡大を図った。	評価	達成	
成果	○ 水中ウォーキング・エクササイズ・リズム体操の3コースを四半期ごとに実施し、運動習慣の定着化や参加者同士の仲間づくりに寄与した。 【健康スポーツ教室参加者数】 2,249人			

事業費名	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	令和元年度 決算額	777,860円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	○ 児童運動能力アップトレーニング事業により、児童の運動能力やスポーツに対する意欲や関心を向上させるため、小学校の体育の授業に外部講師を派遣した。 ○ キッズ元気アップ応援隊により、未就学児のバランス感覚や運動能力の向上を図るため、各保育園等でリズム体操教室を実施した。	評価	概ね達成	
成果	○ 市内小学校9校の体育の授業において、水泳で25回、陸上競技で2回講師を派遣し、専門的な指導による各種目の能力向上や大会出場選手の強化に努めた。スケートは暖冬の影響により指導を行うことができなかった。 【児童運動能力アップトレーニング事業参加者数】 881人 ○ 15カ所の保育園や幼稚園等で体操教室を80回実施し、未就学児や親子が体を動かすことの楽しさを体験することで、運動する習慣のきっかけづくりとなった。 【キッズ元気アップ応援隊参加者数】 1,443人			

事業費名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	令和元年度 決算額	14,336,961円	
令和2年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠野じんぎすかんマラソンなどを開催し、交流人口の拡大に努めた。 ○ スポーツ少年団活動や各種スポーツ団体における選手育成に対し支援を図った。 ○ スポーツ合宿などを誘致し、地域活性化とスポーツ振興の推進を図った。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第37回遠野じんぎすかんマラソンでは、公認コースの認定取得、東京マラソンへの選手派遣など新たな魅力づくりに取り組み、参加者の増加につなげた。 【遠野じんぎすかんマラソン参加者数】 2,552人（市内：401人、市外：2,151人） ○ 市体育協会などの運営や子どもたちへの技術指導を行う団体への支援のほか、一輪車や空手道などの全国大会出場に対する支援も行った。 【スポーツ団体運営等補助】 6団体 【スポーツ少年団全国大会出場】 3単位団 ○ 早稲田大学男子ラクロス部などが市内で合宿を行い、交流人口と地域経済の拡大に寄与した。 【スポーツ合宿等支援件数】 3件 			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	③ 食育の推進

施策の展開に係る 全体総括	第2次遠野市食育推進計画とおのっこプランに基づき、ライフステージに合わせた食育講座や講演会を行った。 特に、子どもから高齢者まで、生涯にわたり明るく充実した生活を送るため、食生活改善推進員と連携した事業活動を行った。
課題	小中学生の朝食の欠食率については、生活環境の改善の他、食に関する正しい知識と朝食を摂ることの大切さについて自覚できるような支援と環境づくりが必要。

事業費名	ぱすぼる推進事業費	令和元年度 決算額	1,368,126円	
令和2年度 事業所管課	学校給食センター			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民が「食」は生涯健康であるための基盤であることを認識し、各ライフステージに合わせた食育を行うことで、食環境の向上に努められるよう支援した。 ○ 第2次遠野市食育推進計画とおのっこプランの推進母体「遠野市食育推進ネットワーク会議」を通して、食育推進計画を推進した。 ○ 食育推進の共同体である健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の事務局として、組織の資質向上と活動支援に努めた。 	評価	概ね達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライフステージに合わせ調理実習を含む食育講座や講演会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <小学生対象> ちびっこ栄養教室、親子の食育講座を通し、つくる力を育み食に関する正しい知識を身に付け、家庭での実践へつなげる機会となった。 <中・高校生対象> 講演会や食育講座を通して、自身の食課題と向き合い、自立へ向けた食事の重要性を学ぶ機会となった。 <青年・中高年者対象> 親子の食育講座や男性限定の料理教室を開催し、調理の楽しさを体験することで、食についての興味・関心を引き出した。 【朝食を食べる小中学生の割合】 92.2%（目標：95.0%） 内訳：小学校：96.7%、中学校：87.8% 【食育講座・講演会】 小学生：18回 262人、中学生：11回 489人、高校生：4回 453人 青年(親)：1回 21人、中高年：66回 1,041人 ○ 食生活改善推進員の組織育成支援 研修会を実施し、活動に必要な知識や技術向上のための支援を行ったほか、広報を活用した市食育レシピの普及は、市民の食の関心を引き出し実践へつなぐ手立てとなった。 【食生活改善推進員の育成研修会】 33回 340人 ○ 遠野市食育推進ネットワーク会議の活動支援 食育推進協力店事業を立ち上げ、市内飲食店の食育推進協力店の登録を進めたほか、食育まつりを自主的な活動となるよう支援した。 【食育推進ネットワーク会議】 2回 45人 ○ 市民向け食育イベントの開催 「ぱすぼる食育まつり」を開催し、地域の活性と共に食文化のを体験と健康づくりへの関心を高めた。 【市民向け食育イベントぱすぼる食育まつり】 1回 400人 			

基本方針	5 子育て支援の推進
施策の方向	(1) 少子化対策・子育て支援
施策の展開	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ② 子育て支援の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>わらすっこプランに基づき、少子化対策・子育て支援施策の充実を図るため、子育て世代のニーズを踏まえた施策を推進した。</p> <p>病児等保育施設、児童館及び児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、子育てと就労等との両立の支援を図った。</p> <p>わらすっこ基金事業として、子どもが健やかに育つ環境づくりを普及・推進する活動団体に対する助成のほか、新たな取組として、子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償とし、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。</p>
課題	<p>建物の老朽化が進んだ児童館について、改築整備の具体的検討を進める。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業は、地域での子育て支援体制を整備するため、更なる周知を図る。</p>

事業費名	看護保育安心サポート事業費	令和元年度 決算額	14,115,533円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	○ 保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」において病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を維持し、もって児童の福祉の向上を図った。	評価	達成	
成果	<p>○ 核家族化や両親の共働き世帯が増え、病児等保育の需要が高まっているなか、「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、保護者が安心して子どもを預けることができる環境の充実を図った。</p> <p>【実績値】 令和元年度（開設日数 240日） 登録者数240人、年間利用者延べ人数 484人（1日平均 2.02人）</p> <p>【参考】 1 平成28年度（開設日数 244日） 登録者数 237人、年間利用者延べ人数 553人（1日平均 2.29人） 2 平成29年度（開設日数 242日） 登録者数 229人、年間利用者延べ人数 631人（1日平均 2.61人） 3 平成30年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者延べ人数 623人（1日平均 2.59人）</p>			

事業費名	わらすっこの居場所事業費	令和元年度 決算額	114,053,000円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労等の理由により、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館・児童クラブにおいて学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む取組を推進した。 ○ 貧困等様々な課題を抱える子どもやその保護者への食事提供と併せて、学習支援・体験活動を実施する「子どもの居場所」づくりに取り組む団体等に対し支援することで、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、健やかに成長することができる環境の整備を推進した。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後等における児童の居場所づくりとして、社会福祉法人遠野市保育協会に児童館・児童クラブの管理運営を委託し、家庭と地域等との連携のもと発達段階に応じた遊びを提供し、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣等の健全育成を図るとともに、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動を実施する育成団体に対し、補助金を交付し事業の運営を支援した。 【実績値】児童館：7カ所、児童クラブ：4カ所、利用延べ人数：129,403人 育成団体等運営費補助：11団体 ○ 子どもの居場所づくり事業を新たに実施する団体及び現に実施している事業の機能強化を図る団体に対し補助金を交付することにより、食事の提供や学習支援、遊び、様々な体験活動等を通じて生活習慣を身につけることができるとともに、子どもたちが安心して過ごせる環境の確保に寄与した。 【実績値】子どもの居場所づくり補助：3件 			

事業費名	子育て応援宣言のまち推進事業費	令和元年度 決算額	8,373,684円	
令和2年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育て応援推進事業 地域において、育児の援助をしたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織化し、会員同士が相互援助活動を支援することで児童福祉の向上を目指し地域での子育て支援体制の充実を図った。 ○ わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、遠野市わらすっこ基金を活用し助成金を交付した。 ○ わらすっこ応援券交付事業 遠野市わらすっこの誕生応援事業実施要綱に基づき、出生した児童の保護者に写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。 	評価	達成	

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育て応援推進事業 育児を援助したい（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）をマッチングし、相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。 【実績値】 育児援助依頼件数：30件 ○ わらすっこ基金助成事業 子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、活動団体に対し助成金を交付した。 また、子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償化することにより子どもの活躍をみんなで応援し、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。 【実績値】 わらすっこ基金助成金交付：6団体 施設使用料サポート事業助成金交付：28団体 ○ わらすっこ応援券交付事業 出生のお祝いとして、市内産の木材で作成した写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を交付した。 【実績値】 写真立て等贈呈人数：123人
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

IV 外部評価の実施

令和3年2月15日（月）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成30年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、17ページから56ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
細川 昭子	遠野市校長会（遠野小学校長）
菊池 保夫	社会福祉法人 遠野市保育協会 常務理事
佐々木 栄洋	遠野市文化財保護審議会 委員
多田 宜史	遠野市PTA連合会 副会長
小松 喜代子	遠野市芸術文化協会 会員

【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
全体	点検及び評価における判断基準について	<ul style="list-style-type: none"> ●点検項目に係る国や県が定める評価基準はあるのか？ 数値等で達成状況が判断できない事業の扱いをどうすればよいか。 ▷資料No.1の16ページ下段の区分表に則って各事業を自己評価している。評価員には、市教育委員会の自己評価を踏まえて、改善すべきこと、推進すべきことなど提言のご意見をいただきたい。 ●評価基準の数値が設定されていない事業の成果記述方法については、具体的にどのように事業目的達成のための取組をしたのか、どのような成果が得られたか分かるようにすべきではないか。 ▷できるだけ事業効果・成果が分かるよう記述の改善を図る。
17	わらすっこプラン推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ●指標等がない中で、評価が「達成」となった要因は何か。 ▷「遠野わらすっこプラン」最終年にあたり、「第2次わらすっこプラン」策定に係わって、遠野わらすっこ支援委員会の開催を予定回数を上回る6回開催した。また、わらすっこ条例応援認定事業者についても着実に増加していることから「達成」と判断した。
18	(1) 就学前教育の充実 ② 教育・保育の充実課題	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園・保育園と小学校との接続において、臨床心理士活用の必要を感じている。対応充実について検討してほしい。 ▷幼稚園・保育園と小学校とのつながりにおいて、臨床心理士の役割は大切と考える。特に就学指導に関して頼りになる方々なので、ぜひとも連携を図っていく。

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
18	保育所等運営事業費 (保育所運営委託)	<p>●ファミリー・サポートの実績はどうか。 ▷令和元年度は30件の援助活動実績である。</p> <p>●ファミリー・サポート・センター事業の学校行事での活用の見通しはどうか。 ▷令和2年度、宮守小学校と土淵小学校の学習発表会で実施した。今後は実施場所について学校、家庭どちらが良いか、使い勝手の良さについて検討していく。</p>
21	体育・文化行事奨励費	<p>●生徒数の減少に伴い、学校におけるクラブ活動の在り方について、制約されてきていると思う。地域の協力・サポートの在り方について一緒に考える機会を検討してほしい。</p> <p>▷中学校の部活動について文科省では、令和5年度から協力を得ながら地域に移行していく動きがあることから、地域の方々の支援による遠野ならではのより良い部活動体制を構築していく。</p>
23	特別支援教育推進事業費	<p>●年々特別支援を要す児童生徒が増加していると聞く、今後さらに需要に対応した充実を図ってほしい。</p> <p>▷令和3年度に向けても同じく19人程度配置できるよう進めている。通常学級の集団の中で支援しながら育てていく「インクルーシブ教育」の考えが遠野市には浸透していることから、今後も大切にしていく。</p> <p>●特別支援教育支援員が学校の先生なのか混乱する児童生徒がいると聞くが、役割が明確になるよう改善する必要があるのではないか。</p> <p>▷児童生徒にとっては担任の先生が中心であり、その上での支援員であるとの整理をしている。ケースバイケースで対応がうまくいかないこともあることは承知している。支援員には年2回の研修を行っているが、役割分担を明確にし、教員免許を持っている支援員も持っていない支援員もいるので、配慮しながら対応していく。</p>
24	学力向上対策事業費	<p>●学力向上対策事業の中で唯一「概ね達成」の評価なのだが、その理由は何か。</p> <p>▷事務事業については計画どおり実施できたが、まちづくり指標の「小学校の標準学力偏差値」が目標値53.9に対し実績値51.2で、「概ね達成」となったもの。小学校では全国標準50を超えてはいる、中学校は50を下回っているが、徐々に伸びがみられる。遠野の子どもたちは頑張っている。</p> <p>●課題に「偏差値50を超えること」とあるが、危惧すべきことと捉えている。学校に頼るだけでなく、家庭でできることは限られるかもしれないが、子どもの学習意欲が高まるようなことに取り組む必要があると思うがどうか。</p> <p>▷学力向上については、学校の授業改善だけでなく、家庭学習が必要と考える。読書活動も含め家庭でできることと学校での指導をリンクさせて学びの力を拓げていく取組を推進する。</p>

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
25	特定強化集中対策事業費	<p>●評価は「達成」となっている。実用英語検定受検者が 203 人ということだが、3 級・準 2 級の合格者が何名という目標を定めた方が、達成・未達成が分かりやすくなるのではないか。</p> <p>▷文部科学省、県、市では、中学 3 年生で英検 3 級以上を 50%以上取得させたいという目標がある。これに向かって取り組んでいるのがこれらの事業になる。英検 3 級以上の取得人数や割合がどうだったか文部科学省で集約されることになっている。今のようなご意見をいただきながら、実績としてどうなのかをもう少し把握し、学校にも意識してもらえるように取り組んでいく。</p> <p>●合格者数を目標に掲げるのは良いと思うが、そういうものが独り歩きすると、生徒たちのチャレンジする意識の低下が懸念される。試験を一発合格する生徒は少ないと思う。まずは受けることで励まして、2、3 回とチャレンジする逞しい気持ちを持つことも大切だと思う。これを目標とするのを止めるのではなくて、追加で合格者の目標を設定する方がよいのではないか。</p> <p>▷取組は英検 I B A と英検となっている。英検 I B A とは、英検協会が作成した共通の試験を受けて、合否がでるのではなく、中 1 中 2 で受けて、今このくらいの力があるということが分かる。実際の英検の合否ではなく、I B A の結果を受けて頑張って勉強していく。実際に英検を受けるときに助成してチャレンジしてもらうというものなので、嫌になったりしないように中 1 中 2 でしっかり力を蓄えて、チャレンジしてもらえるように取り組んでいく。</p>
26	小学校管理費	<p>●今年、エアコンが各教室に設置されて、非常にありがたいと思う。一方、職員室にはエアコンが設置されていない。教職員の多忙・負担軽減等対策検討会議も開催されているようだが、教職員の待遇を改善・向上させることによって、教職員のモチベーションを上げる。それによって、児童生徒の学びのモチベーションも上がるということも考慮し、職員室へのエアコン設置を検討する必要があると考えるがどうか。</p> <p>▷令和 3 年度予算に職員室の空調設備工事の予算を設けている。令和 3 年度と 4 年度の 2 ヶ年で計画している。市総合計画の後期計画に登載しており、教職員の配置が多い学校から順に設置する計画で進めている。</p>
32	学校給食事業費	<p>●年間給食の配食数 168 回は、どのように決められているか。</p> <p>▷回数については、総合食育センターの運営審議会に校長及び養護教諭の代表 2 名にも参画いただき、過去の授業日数や行事日数等を勘案したうえで協議・決定している。</p> <p>●給食の配食は学校単位で調整されているが、学年行事等があると全学年の給食停止で調整しなければならず、可能であれば学年ごとに配食を調整できないか検討してほしい。</p> <p>▷現在、学校給食の配食方法は学校単位となっている。学年ごとの配食とした場合、給食のある学年、無い学年で兄弟により家庭での弁当対応や事務における煩雑化も考えられるが、きめ細かな給食提供のあり方について貴重なご意見として参考にしていく。</p>

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
33	(2) 学校教育の充実 ④ 学校と家庭、地域との連携の充実課題	<p>●「地域学校協働活動を推進していく」とあるが、具体的にどのような活動・展開になっていくか。</p> <p>▷令和4年度からコミュニティースクール、地域・家庭・学校が連携していくという流れを推進していく。令和3年度から準備を進めて、より良い形になるように取り組んでいく。</p>
33	地域教育文化振興事業費	<p>●家庭教育ゼミナールが各小中学校単位で開催されているが、中学校区単位で開催するなど効率的な開催方法等、学校間の話し合いで決めても良いのではないか。</p> <p>▷現在は、各学校単位で開催している。PTAの参観日に併せて開催するなど、参加者を集める努力をしている。確かに参加者の多いところ少ないところ。開催している曜日等の関係もあるが、今後、中学校区単位で開催できることも検討していきたい。より多くの方々に情報をたくさん提供し、教育活動ができるようにしたい。各校長、保護者とも協力して、より良い方向に進めていく。</p>
36	みらい創りカレッジ推進事業費	<p>●具体的活動内容・状況について説明してほしい。</p> <p>▷令和元年度については記載どおりで、評価についても利用者数が6千人以上で「達成」となっている。現在は、コロナ禍により関東などの学生を迎えて地域の子どもたちと交流するということができない状況にあるが、オンラインでの交流は引き続き行っている。コロナ感染症対策実施のため参加人数は減るが、概ね同じようなプログラムには取り組んでいる。</p>
36	学びのまちづくり推進事業費	<p>●各地区公民館で生涯学習、社会教育等の講座を行っていたと思うが、小さな拠点による地域づくり推進事業に伴い4月以降地区センターに公民館主事がいなくなるが、今後の社会教育の運営はどうなるのか。</p> <p>▷小さな拠点ということで、市職員は引き上げることになるが、地区公民館が果たす役割は継続する。引続き、主事の代わりに活動専門員が令和3年度以降研修会等を開催し、今までと同様に市民のサービスが変わらないよう、市民ニーズに沿った講座等を実施していく。地区センター業務としての受託事業に入っている。市からのまちづくり交付金や一括交付金等の中の事業のメインとして取り組まれる。</p>
39	芸術文化振興事業費	<p>●“わ”で奏でる東日本応援コンサートや遠野物語ファンタジー等は、参観者数が「未達成」となっているが、とても良いイベントだったのに残念だと思う。“わ”で奏でる東日本応援コンサートについては、プロと一緒に演奏できるということで、決まった段階で市民バンド等はモチベーションが上がり、参加した人には非常に良かった。子どもたちも感銘を受け夢や目標を持ったりしたと思う。課題のところに、「次代を担う人材育成に努める」とあるが、子どもだけでなく大人も楽しめる、頑張れる機会を提供できる事業を今後も大切にしてほしい。</p> <p>▷中身の充実した非常に素晴らしいコンサートであった。子どもだけでなく、大人も多くの市民が関わっていけるような機会をつくっていけるよう取り組んでいく。</p>

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
40	博物館費	<p>●博物館の入館者数と受講者数について、この数字は一般的に多いのか、少ないとみるのか。人口と同等の人数が利用されると良いと思うがどうか。</p> <p>▷他の博物館に比べると、毎年数回企画展等を開催するなど頑張っていると思っている。入館者は2万人を目標としていたが、達成できなかった。課題として、より広く情報発信をしながら、入館者を増やしていく。</p>
41	図書館費	<p>●最新図書の選定基準について教えてほしい。</p> <p>▷利用者からのリクエストを基に購入している。年間リクエストは200冊ほどある。あとは、毎月推薦図書リストが届くので、司書で構成する選定委員会を開催し、推薦図書リストを見ながら、市民の借りている傾向等を参考に選定している。</p> <p>●地方紙に新刊を定期的に紹介しているコーナーがある。選書の参考にしてほしい。</p> <p>▷新聞掲載は承知しており参考にする。</p>
45	重要文化財千葉家住宅 整備事業費	<p>●千葉家の完成年度はいつか。</p> <p>▷令和9年度の完成予定である。</p>
47	遠野遺産認定事業費	<p>●千葉家、遠野遺産及び語り部1,000人プロジェクトの活用策が課題だと説明されたが、まさに進めてきた事業をいかに活用していくかが大切だと思う。文化課だけで悩まず、市民からもいろんな活用策をいただく等、いろいろ模索し、頑張してほしい。</p> <p>▷千葉家、遠野遺産及び語り部等、各プロジェクトの活用については、ご意見として承った。いろんな活用策を考えていく。</p> <p>●遠野遺産の認定の都度、毎年ガイドブックを作成されているが、観光などで訪れる人たちへGoogleマップ等に登録して紹介している町もある。遠野遺産に関してはスマートフォンなどで位置情報の検索ができ、観光ルートをつくり、それを有機的に結びつくようにした方が、観光客も使いやすいと思う。観光にも役立つような情報提供をしてほしい。</p> <p>▷観光客向けにガイドブックを作成しているが、SNSなど活用した情報発信が必要との声が内部でも挙がっており、今後、検討する。</p>
50	こども本の森構想推進 事業費	<p>●こども本の森の施設整備に関わって、教育委員会ではどのような議論がされてきたか。</p> <p>▷令和2年度においては、総合教育会議で説明をさせていただいた。これから計画を推進するという報告で議題にしている。令和元年度においては、事業着手するところで、市民の皆様から意見をいただく段階だった。ワーキングも元年度の1月から始まっている。懇談会のメンバーには教育長も入って協議している。</p> <p>●取壊しの旧三田屋の三次元の建物形状データを有効活用してほしい。</p> <p>▷三次元データの活用方法について相談させていただく。</p>

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
53	ばすぽる推進事業費	<p>●朝食を食べる割合が、学年が上がると減少する傾向にある。中学生は部活等含め多くの日課をこなさなければならず、朝食を摂る余裕のない生徒もいる。部活をする、しないの選択自由化を導入すべきでないか。</p> <p>▷子ども一人一人の成長の一つとしての部活動と考えている。実際は教育課程に位置づけて部活に出ないといけないということはないが、市内3中学校に関しては、生徒会規約に基本的に全員加入となっているところもある。子どもたちが自分でやりたいことを決めること。部活にないスポーツや文化活動に取り組んでいる子もいる。そういうこともしっかりできるようにと自主的な活動という流れになってきている。指導面ということだけでなく、集団でのチームワークを養うという面もあるが、それが負担となって学習や生活サイクルに過度な負担がかからないように連携していきたい。また、地域に移行するといっても、地域の方で加熱しても本末転倒なので、調整を図りながら進めていく。</p> <p>▷朝食摂取率は中学生から低くなる。朝食は身体のスイッチを入れる効果があるので、小学校低学年から習慣をつけさせていきたい。</p> <p>●まちづくり指標にある朝食を摂る習慣のある子供の割合は、どこで調査されているか。</p> <p>▷毎年、岩手県が実施している。市の目標値が95%に対し、実績が92.2%で「概ね達成」としている。</p> <p>●児童生徒にとって朝食を摂ることが、いかに大切か肌で感じている。虫歯や肥満などにも関係している。情報もそうだが、基本的な家庭教育に立ち返らなければいけないと感じた。</p> <p>▷食育については、各学校に栄養教諭を派遣して指導している。家庭や一般にも、食育について積極的に情報発信していく。</p>
54	看護保育安心サポート事業費	<p>●「わらっぺホーム」の設置は、子育てするなら遠野の素晴らしい取り組みの一つと評価している。少子化が進むなか、年々利用者が増えている。今後の、課題としてはどのようなものがあるか。</p> <p>▷周知され利用者が増加傾向にあったが、コロナ感染予防対策のため利用者の減少状況が続いている。保護者には、利用について今後も周知していく。</p>
55	わらすっこの居場所事業費	<p>●白岩児童館の老朽化対策は？建替え時には、白岩保育園と併せて進めることを提案したい。</p> <p>▷現在、築42年経過しており、改築に向けた整備計画を進めている。平成30年度の地域での懇談会を踏まえて、整備に向けて検討会を進めている。後期計画には白岩保育園の整備も掲載しており、総合的な整備の在り方も含め検討を行っている。令和3年度に関して、用地取得に係る委託料を当初予算に上げ進めており、これから地域に説明する予定である。3～4年度での建築予定としている。</p>

評価書 ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
—	その他	<p>●学校教育のカリキュラムも社会の流れを受けて、見直しながら発展していきいていると思う。情報提供として紹介するが、昨年度から「少年少女発明クラブ」を立ち上げ、プログラミング教育の取組みを始めた。色々な先生がいて、市議会議員や現役の岩手大学生、東北大学生などとやっている。カリキュラムもかなり充実している。ロボットの動きをプログラミングで制御して行ったときに、小学2年生がかなり集中して取組む姿に驚いた。こういうものを継続的に行えば、子どもたちの成長はかなりすごいのではと感じた。</p> <p>遠野市はこういう面で後進地域ではなく、先進地域であってほしいと思って、取り組んでいるが、岩手県自体が進んでいなく、ほかの地域からも遠野に来たいという方もいるので、これからも地域貢献として取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>また、遠野小学校の児童が、岩大が主催したプログラミングコンテストでファイナリストになったことも情報提供しておく。</p> <p>▷参考にさせていただく。</p>